

A G A R O O T

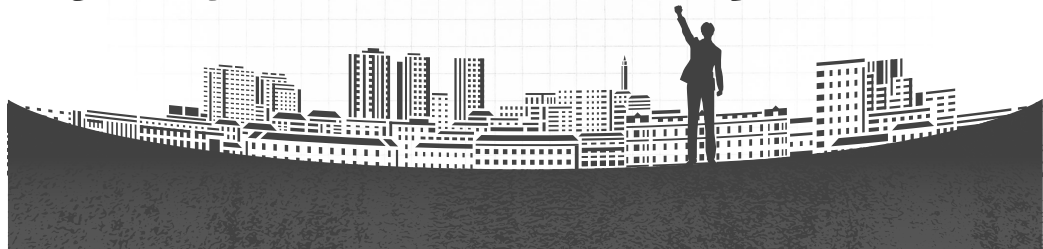
A C A D E M Y

合格

合格者の最短ルート

令和6年合格者

体験記



令和6年度

司法試験合格

最も効率的かつ効果的な予備校だと確信

横井 佑真さん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

予備試験1年合格カリキュラム

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートアカデミーを選んだ理由は、コストパフォーマンスの高さ、判例を重視した実践的な指導方針、そして合格に必要な知識を網羅的に得られるカリキュラムという3点です。

まず、コストパフォーマンスの高さです。司法試験対策の予備校は多くありますが、中でもアガルートは比較的リーズナブルな価格で受講可能です。特に、講義の質が高いにもかかわらず、価格が抑えられている点に魅力を感じました。また、合格特典として受講料の全額返金制度やお祝い金が用意されており、合格者を支援する姿勢にも信頼感を持ってました。

次に、判例遵守の方針です。アガルートでは、司法試験合格に直結する判例学習を中心に据え、学説には必要最低限しか触れません。このアプローチは、限られた時間で効率よく合格を目指す受験生にとって非常に有効だと感じました。過去問や判例を徹底的に分析した講義内容は、試験で求められる実務的な力を養うのに最適でした。

さらに、合格に必要な知識を網羅的に学べる点も選択の決め手でした。テキストや講義は、基本的な条文の理解から応用問題の解き方まで幅広くカバーしており、初学者でも段階的に力をつけられるよう設計されています。また、問題集や答練も充実しており、インプットとアウトプットのバランスを保ちながら学習を進めることができました。

これらの理由から、アガルートアカデミーは、自分にとって最も効率的かつ効果的な学習環境を提供してくれる予備校であると確信し、選択しました。

合格体験記

司法試験合格に向けた学習では、重要問題習得講座による基礎の徹底、自主ゼミでのアウトプット訓練、そして論証パターンの改変とブラッシュアップを柱として取り組みました。

まず、重要問題習得講座を用いて基礎を完璧にすることを意識しました。司法試験は基礎的な理解が重要であり、重要問題習得講座のような頻出論点を扱った教材を繰り返し学習することで、知識を確実に定着させました。単に暗記するのではなく、各論点の背景にある法律の趣旨や論理を深く理解するよう努め、応用にも対応できる力を養いました。

次に、大学院の友人と自主ゼミを組み、アウトプットの機会を増やしました。答案を書いた後、ゼミ内で互いの答案を読み合い、議論を交わすことで、自分の弱点やミスに気づくとともに、新たな視点や考え方を得ることができました。また、友人から指摘を受けた点を修正することで、答案の質を着実に向上させました。この過程は、論理的思考力や表現力の向上に非常に役立ちました。

さらに、論証パターンを改変し、自分のスタイルに最適化していきました。既存の論証をそのまま使うのではなく、問題文の事実関係や出題趣旨に合わせて微調整し、自分の言葉で再構築することで、試験本番での柔軟な対応力を鍛えました。このようにして、どのような問題が出てもしっかり論理的かつ一貫性のある答案を書ける力を身につけました。

これらの学習方法を継続することで、基礎力と応用力をバランスよく鍛え上げ、自信を持って試験に臨むことができました。その結果、司法試験合格という目標を達成することができたのです。

令和6年度 司法試験合格

アガルートで培った基礎力と自作の「まとめノート」

S. Kさん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

司法試験 論文式試験「予想論点攻略講座」、採点実感から読み解く合格答案の「型」 習得講座
予備試験 1年合格カリキュラム、倒産法 / 3講座パック

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は、法学部在学中にロースクール入試の受験を検討していましたが、その際にアガルート（予備試験1年合格カリキュラム）を選択しました。その理由としては、①総合講義が300時間で終われること、②定評のある重要問題習得講座が含まれていたことがあります。

①総合講義の良い点

まず、司法試験の科目はそれぞれ膨大な範囲を抱えています。そのため、基本書などで独学を始めようとすると、「どこまで勉強すればいいのか」や、「どこに重点的に取り組めばいいのか」といった壁にすぐにおち当たってしまいました。

その中、①総合講義は、司法試験基本7科目の論述問題の対策のために必要な知識を押しこめる講座であり、それを300時間で習得することも可能でした。もちろん、最終的には、何度も自分で復習したり、必要に応じて講義を聞き返したりもしました。それでも、勉強すべき範囲や内容についてメリハリをつけながら、司法試験に必要な知識を得ることができました。また、教材自体は、カラーで見やすく、論証集や重要問題習得講座とのクロスリファレンスも充実しており、勉強に集中しやすそうと感じたのも決め手になりました。

②重要問題習得講座の良い点

重要問題習得講座は、司法試験基本7科目の論文式の問題集であり、7科目で450問ほどあります。これは多いように思えますが、逆に言えばこれを網羅することで7科目について自信を持つことができるのではないかと思います。問題はオリジナルのものから旧司法試験や予備試験、法科大学院入試の過去問など多彩で、ロー入試を控えていた私にとっ

でも良いと考えました。また、問題の解説は丁寧で、総合講義テキストや論証集との相性も良いことから、とても勉強しやすいような問題集と感じました。

合格体験記

私は、ロースクール卒業後に、初めて司法試験（令和6年）を受験し、合格することができました。その大きな要因は、①アガルートで培った基礎力と②自作の論証を含む「まとめノート」を各科目で作成し、これを反復したことだと感じています。

①アガルートについて

私にとってアガルートの教材は、「司法試験勉強の指針」として活用していました。ローの授業は一つの単位についての学説の理解などは高まりますが、その分網羅性に問題がある部分もありました。一方で、アガルートの教材は、過去の出題傾向から必要十分な解釈・判例の知識、学説などを示してくれているので、こういった箇所を重点的に勉強すべきかが理解しやすかったです。

②まとめノート作成について

私は、ロースクール既修2年目あたりから司法試験直前までの主な勉強方法（論文式対策）は、「司法試験過去問や重要問題習得講座などを解く⇒そこで得た知識をまとめノートに落とし込んでいく」というものでした。アガルートの講座を取るにあたり、論証集もゲットすることができ、これも多用しましたが、個人的にどうしてもこれだけでは丸暗記に近くなって、十分な理解ができなかったと感じていました。そこで、理解・暗記できないことについては、総合講義テキストや基本書、判例集などに立ち返り、理解するまで勉強するように心がけました。一度も理解できないままでは、類似の問題が出ても全く対応できないからです。そうして理解した事項については、自分の言葉で文章化し、それを論証化するように心がけていました。一度自分の中で理解し、その思考過程や論証を残しておくことで、あとで復習するときも思い出しやすくなりましたし、何より暗記がしやすかったです。もっとも、このような勉強ができたのも、アガルートの教材やロースクールで培われた基礎力があってのことだと思います。

令和6年度 司法試験合格

不合格からの反省と再起

水野 直さん (30代)

予備試験合格

受講していた講座

予備試験 論文過去問解析講座、司法試験 論文過去問解析講座、倒産法 / 総合講義、予備試験 論文過去問解析講座
司法試験 論文過去問解析講座、重要問題習得講座、総合講義 100、予備試験口述試験対策講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

1回目と2回目の司法試験の論文式試験に不合格となり、これまでの勉強を続けたのでは合格は難しいと考えた私は、予備校を利用しようと思いました。

そこで、他予備校の講座内容を見ました。そうすると、学説の色合い（特に刑事系科目）が強く、やや旧司法試験対策から抜け出せずにいるように思われました。それと、基礎講座の講義時間が長く、怠けがちな私にはとても消化し切れそうにありませんでした。さらに、値段が高額だったことから、利用するかどうか足踏みしていました。

その頃、当時他予備校の専任講師だった工藤先生の講義と答練を受けて司法試験に合格した友人から、講義レジュメを見せてもらったところ、法律学習経験者を対象として、重要項目は厚く、それ以外はあっさりと解説されていて、メリハリがあるとの印象を受けました。また、アガルートの総合講義 100 は、司法試験・予備試験過去問を踏まえ、充実させたものとなっており、学習の効率化に役立つと考えました。

そこで、私は、他予備校の講義ではなく、アガルートの総合講義 100 を受講することにしました。以上が、私がアガルートアカデミーを選んだ理由です。

合格体験記

1 不合格体験記

合格体験記の前に、私が令和5年の本試験で一発合格できなかった経緯を書きます。

令和4年の予備試験に最終合格して以来、私は、どこかフワフワとした心地で地に足がついていないような、そんな不思議な感覚になりました。予備の論文式試験で割と良い順位をマークしたことや、令和3年の予備試験ルートからの令和4年本試験合格率が97.5%であることもあってか「このまま本試験を受ければ合格するだろう」という気分になりました。もちろん、答練には欠かさず出席し、毎回起案もしていましたが、どこか気持ちが

乗らずに上滑りで、本気で取り組みませんでした。試験当日も「このくらい書けていれば受かるだろう」という気持ちで答案を書いていました。そして11月の合格発表当日、法務省前の掲示板を見ると、自分の番号がありませんでした。受かって当然と高をくくっていた自分にとっては大変ショックで、ひどく落ち込みました。後日届いた成績通知書を見ると、約2000番でした。いずれの科目も45%前後の得点率で、相対的に沈んだ結果でした。

そもそも、本試験との関係で、予備試験合格は受験資格を獲得する1ルートに過ぎません。あくまで、法科大学院修了生「と同等の学識及びその応用能力並びに法律に関する実務の基礎的素養を有する」ものとみなされただけなのです（司法試験法5条1項）。それなのに、私はそれを到達点と誤解し、最難関の本試験さえ、消化試合程度に捉えるようになっていました。こうした慢心が、私を実質的な学習から遠ざけ、いつしか本試験に必死に取り組んだ他の受験生に大きく水をあけられるに至っていました。私は、完全に舞い上がってしまっていたのです。

2 反省と再起

本試験に合格できなかったことは、非常に悔しく、周囲に顔向けできないくらい恥ずかしいことでした。そうはいっても、次の本試験まで残り8か月しかありませんから、本試験合格に向け、早く体勢を立て直す必要がありました。

まず、令和4年の予備試験合格は、直前の追い込みが奇跡的にうまくいった結果に過ぎず、実力を超えた望外の結果と整理しました。

次に、実力が低下した原因を探りました。私は、予備試験合格後、新しいことに手を出さず、上滑りな答練しかしていませんでした。そうすると、不合格の原因は、司法試験に取り組まないことで精度が下がったことにありそうです。これは、砥がれて鋭さを取り戻した包丁でも、1年間一度も砥がずに使っていれば徐々に切れなくなるのと同じです。そして、精度を上げるには、令和4年に精度が上がった方法、具体的には、本試験・予備試験の過去問答練と出題趣旨・採点実感の読み込みを再びやるのが確実です。やり方は予備試験の時と同じで、本試験の過去問を30分で答案構成し、30分で見直すのを各科目で行うというものでした。処方薬の効き目が穏やかになったこともあり、予備試験の時ほどの勢いはありませんでしたが、各科目3～4年分は行いました（特に、演習不足だった商法と行政法は7年分、国際私法は全年度分行いました）。

3 試験当日

全科目ほぼ満遍なく解答できましたが、憲法は規制①②のうち②が時間切れでほぼ白紙、刑法は試験終了5分前に終了時間を30分勘違いしていたことに気付き、設問2の（2）がほぼ白紙になりました。結果、刑法はD評価と順当でしたが、憲法はA評価でした。憲法は、薬事法事件の判断枠組みを丁寧に説明したのが評価されたようです。

4 最後に

本試験合格により、私は、12年に及ぶ戦いからやっと解放されました。順位はボーダー付近かなと思っていましたが、実際は合格者全体の中央付近の800番台後半で、意外でし

た。民訴と刑訴で上位のAを頂けたことが良かったようです。

この試験は、必死に試験勉強に取り組んだ者の中から合格者が決まります。私が合格した令和4年（予備）と令和6年（本試験）も、試験勉強に必死に取り組んだ年でした。色々なものを犠牲にし、それぞれの不安や葛藤を抱えながら、今日も必死に勉強されている受験生が合格されることを心より祈る次第です。

令和6年度

司法試験合格

いろいろな予備校の答案添削講座を比較して

古屋敷 賢人さん (20代)

予備試験合格

受講していた講座

予備試験答練

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

当初は完全独学の方針で勉強していた。しかし予備試験に向けて勉強している中で、論文式の対策がよくわからず、十分な対策ができなかった。結果として一回目の予備試験は論文式で落ちてしまった。そして返ってきた結果を踏まえて一度よく考えたところ、論文式の勉強では自己評価が難しく、自分よりはるかに法律がわかっている人からの客観的な評価を受けることが必要であると考えた。そこで、論文の答案添削講座を受けることにし、いろいろな予備校等の答案添削講座を調べた。そこで、アガルートが比較対象に挙がってきた。そして比較検討する中で、アガルートは、毎年多くの合格者を出しており、実績的に信頼できること、答案添削講座だけを単体で受けることができたこと、問題量がちょうどよかった（予備試験答練は7科目×4回であった。）こと、そして値段がそのボリュームの割に安価であったことに魅力を感じ、アガルートの予備試験答練を受けることにした。

合格体験記

予備試験の最終合格後すぐに、司法試験の過去問演習に入った。過去問の検討をしていく中で、予備試験と比べて司法試験は問題量、問われる内容の深さ、それに対して要求される答案レベルの程度が高いように感じた。そこで、過去問に出てきた論点について、これまでに勉強した知識をより正確かつ深く理解できるように心掛けながら、その復習もしていった。また、出題趣旨、採点実感が予備試験よりかなり詳しく書いてあったので、それらもしっかり確認し、ある論点等に対してどのようなことを書けば高く評価されるのか、自分の答案がどの程度それを再現できているかを確認していった。また、自分は当日の出来不出来の波が出るタイプだと思っていたので、当日大失敗する可能性も踏まえて短答式の対策もかなりしっかりとやった。過去問集をしっかりと二周やり、できなかった問題は基本書等に戻って知識を確認するなど、一度やったことのある問題は絶対に間違えないよ

うにする意識で取り組んだ。

令和6年度 司法試験合格

アガルートの論証集を愛用していた経験から

塚口 涼平さん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

法律実務基礎科目講座・答練パック、予備試験 論文過去問解析講座、知的財産法 / 4講座パック
旧司法試験 論文過去問解析講座、法科大学院入試過去問解析講座 / 東京大学

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は、法科大学院での学習を中心に据えつつ、法科大学院のカリキュラムに先行して選択科目（知的財産法）や実務基礎科目の学習をしたいと考えていたため、予備校を利用することにしました。

私がアガルートを選んだ理由は、大きく分けて以下の2つです。

まず、私は法科大学院入試に向けてアガルートの過去問対策講座を受講したのですが、その成果が出て志望する法科大学院に合格することができたことです。過去に受講した講座では、テキスト・講義の分量ともにちょうどよく、短い時間で効率的に復習をすることができるようになっていました。そこで、選択科目や実務基礎科目についても、このような質的な教材を利用できると考え、アガルートの利用に至りました。

もう一つの理由は、市販されているアガルートの論証集を愛用していたことです。アガルートの論証集は、掲載されている論点の数・各論証の精度ともに高い水準にあり、信頼して使用することができていたので、有料の講座を購入するにあたっては信頼ができました。

合格体験記

法科大学院の授業や課題もこなしつつ、司法試験の過去問は必ず一定のペースを崩さずに起案するようにしていました。過去問を起案したら、出題趣旨と採点実感を丁寧に読み込むのですが、その過程で必ず疑問点が生じるので、その疑問点について、過去問解析講座等を用いて解決するようにしていました。そして疑問点や新たな知識については、その都度論証集に一元化し、常に見返せるようにしていました。

また、具体的な答案の書き方については、出題趣旨や採点実感を読むだけでは身につけ

ることができないため、書くべき事項について頭に入れた上で過去問解析講座を参照し、短い文章で効率的に要点を伝える言い回しをストックするようにしていました。

このほか、法科大学院の授業に先行して、選択科目（知的財産法）と実務基礎科目の対策を進めることを心がけました。両科目については特に、受験生の間でも勉強していた期間に差がつくと考えられるため、早くから勉強を始めたことによって、知的財産法・実務基礎科目ともに得意科目にすることができました。

令和6年度 司法試験合格

テキストの見やすさが勉強の効率を上げた

R. Uさん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

短答知識完成講座Ⅱ、短答知識完成講座Ⅰ、論文答案の「書き方」、重要問題習得講座、総合講義 300

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

テキストの見やすさ及び講座の価格が決め手となりました。

法曹を目指す過程では司法試験の受験、ロースクールの入試及び授業の予習復習など膨大な時間をテキストと向き合う必要があります。ページが字でびっしり埋め尽くされている教科書など、見づらいテキストでは勉強が続かないと思いました。その点アガルートのテキストはカラーであり図も豊富であったため眼に優しく、判例の記載も要点に絞られていたため繰り返し使用することが苦になりませんでした。テキストの余白も適度にあり、ロースクールの授業で得た知識などを余白に書き足していくことができたことも、勉強の効率性を上げました。

また私はロースクールへの進学を決意していましたが、奨学金を借りて大学費用を支払っていたため予算に限界がありました。ロースクールの学費も考えると、講座価格が高額な予備校には通うことができませんでした。この点、アガルートは他の予備校と比較して手の届く範囲の価格で、講座だけでなく問題演習や添削などの環境が整っている点で大学生のころから受講することができました。

合格体験記

私は一度目の司法試験の受験は短答で民法の点数が及ばず、不合格になってしまいました。一度目の受験を振り返ると、司法試験の膨大な範囲に圧倒されインプットを重点的に行ってしまった結果、過去問に取り組む時間が足りなかった点が主な問題点だったと思います。短答落ちという結果でしたが、民法の点数が極端に低く、刑法及び憲法が一度目の受験では高得点であったころから科目を通してバランスの取れた勉強が行えていませんでした。

これらの点を反省し、二度目の司法試験受験の際には過去問に取り組み、起案・添削を

繰り返すことを優先的に行った結果、合格することができました。

私は性格的にコツコツと勉強することが苦手なため、論文ではすべての科目で高い点数を取るのではなく、科目を絞り、メリハリをつける勉強をすることにしました。具体的には得意であった民法、会社法、知的財産は全年度の過去問を起案し、添削してもらい、再現答案と比較した後採点実感を参照しながら以前ワードファイルにまとめた論証を改善していきました。他の科目は5年分の過去問のみ起案しました。論証の暗記ではなく、過去問の起案という作業を行ったことにより、当日で時間不足になることを防ぐことができ、また数々の問題文と触れることによって採点者がなにを問うているのか見抜く力がついたと思います。

短答に関しては繰り返し過去問を解いていくことが近道であると気づき、1月から毎朝まず憲法、民法、刑法それぞれ1時間ずつ解いていき、解けなかった問題にチェックを入れ、2、3周目はチェックを入れた問題を振り返っていくという作業をひたすら繰り返しました。この時暗記しやすい分野からはじめるため、憲法は統治から、民法は家族法から始めました。

令和6年度

司法試験合格

学習の進捗を的確に管理してもらえた

Y. I さん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

司法試験 論文過去問解析講座、経済法 / 司法論文過去問解析講座、短答知識完成講座Ⅰ、論証集の「使い方」
経済法 / 司法過去問解析講座、司法試験 論文過去問解析講座、経済法 / 3講座パック
法科大学院入試過去問解析講座 / 東京大学、予備試験1年合格カリキュラム マネージメントオプション

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

司法試験を目指すことを決めた際、私は司法試験を志す学生が少ない大学に通っており、予備校についての情報をほとんど持っていませんでした。そのため、どの予備校に通うべきか全く分からず、インターネットで情報を集めることにしました。いくつかの予備校を比較した結果、最終的にアガルートアカデミーを選んだ理由はいくつかあります。

まず、アガルートが提供する通学不要なオンライン講座に魅力を感じました。私は当時大学生でサークル活動の長を務めており、日々の活動や会議に時間を取られることが多かったため、学習時間を柔軟に調整できる環境が必要でした。オンライン講座であれば、自分のペースで学習を進めることができ、忙しい生活の中でも効率的に学習時間を確保できると感じました。

次に、アガルートのペース管理体制にも強く惹かれました。大学受験時代、宿題の進捗管理してくれる塾に通い、偏差値が大きく向上した経験がありました。そのため、自分の学習の進行状況をしっかり管理してくれる環境が自分に合っていると感じていました。アガルートでは、マネージメントオプションを受講することで、進捗を的確に管理してもらえる点が特に魅力的でした。

さらに、当時アガルートは成長途上の予備校であり、そのような新しい予備校には個別のニーズに真摯に向き合い、サポートしてくれるのではないかと期待がありました。発展途上の予備校だからこそ、より力を入れてサポートしてくれるだろうと考え、アガルートを選びました。

これらの理由から、私はアガルートアカデミーを選び、司法試験の学習をスタートしました。

合格体験記

司法試験合格への道のりは、決して順調なものではありませんでした。精神的な課題に悩み、思うように勉強時間を確保できない日々が続きましたが、その中で限られた時間を最大限に活用する方法を工夫し、最終的には合格をつかみ取ることができました。

私は2回目の受験で合格することができましたが、初回で不合格となった直後から再挑戦に向けた学習計画を立てました。その際、勉強が順調に進む場合と、うまくいかない場合の両方を想定して計画を組み立てました。勉強が進まない場合でも、自分の弱点を克服するために最低限必要な勉強に集中するという方針を決めました。計画を立てた当初、私は心身ともに健康でしたが、後に精神的な問題で勉強時間を長時間確保することが難しくなりました。もしあのとき計画を立てていなければ、さらに困難を感じたことと思います。長時間勉強することができることに越したことはありませんが、うまくいかない状況を想定していたことが、結果的に自分を助けてくれたと感じています。

勉強の優先順位を決める際には、周囲のアドバイスに流されず、何が自分にとって本当に必要なかを冷静に見極めることが重要だと実感しました。

勉強時間に制限があったため、特に重視したのは過去問演習です。模試の時期に間に合うよう、2日に1問のペースで起案を行い、出題者の意図を理解しながら進めました。過去問に集中することで、効率的に必要な知識を習得しました。2回目の受験に向けては、過去問以外には新たに取り入れるものはありませんでした。また、既存の知識を維持することの重要性も感じていたため、ロースクール教材や論証集の「使い方」、重要問題習得講座などを復習し、知識の定着を図りました。体調が優れない日でも、最低限やるべきことを事前に決めておくことで、少ない時間でも効果的に学習に取り組むことができました。

私は限られた勉強時間の中で、自分の弱点を見つけて優先的に克服することに注力した結果、合格を勝ち取ることができたと感じています。試験本番では、うまくいかない場面もあるかもしれませんが、相対評価であることを忘れず、焦らず冷静に取り組んでください。何度目の挑戦でも、受かるべきタイミングで合格できると信じ、希望を持ち続けてください。心より応援しております。

令和6年度

司法試験合格

倍速再生でも聞き取りやすい先生の声

安孫子 正成さん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

司法試験 論文式試験「予想論点攻略講座」、短答式試験「重要トピック攻略講座」、倒産法 / 予備論文過去問解析講座
過去問から学ぶ「判例の射程」、過去問から学ぶ「当てはめの作法」、「事例研究行政法 (第4版)」解析講座
倒産法 / 論証集の「使い方」、判例百選スピード攻略講座、耳で覚える総合講義 1 問 1 答
予備試験 1 年合格カリキュラム、重要問題習得講座、総合講義 100、論証集の「使い方」

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

完全オンライン形式で自分のペースで学習を継続することができ、またテキストが簡潔かつ図表やカラーを多用した視覚的にわかりやすいテキストだったからです。

スマートフォンから受講することができること、講義時間も 1 回で 20 ～ 30 分ほどにまとまっていたことなどから、まとまった時間だけでなく、隙間時間を利用して勉強を進めることができそうに感じました。

また、担当講師の先生の声が耳に残りやすく、倍速再生を行っても聞き取りやすかったため、通常想定されている試聴時間よりも短くできそうだなと感じました。加えて講師の説明は端的でわかりやすく、少なくとも講師の説明する内容が頭に入っていれば司法試験に耐えられるのではないか、という安心を感じることができました。

最後に、私はアガルートを知ったのは大学時代の優秀な先輩からであったため、アガルートは単純に利用者が多いこと、そして私が紹介を受けた方のように優秀な方がいたことも大きいです。

合格体験記

入門講座を受講して、一通りの試験科目のインプットを行いました。

テキストの内容で自分が疑問に思ったこと、もっと詳しく知りたいと思ったことについては適宜基本書を参照し、一元化教材にまとめていました。逆に、教科書を読み進める中でよくわからない分野が出てきた際には、アガルートのテキストを参照することでイメージが湧くということもありました。

司法試験の過去問に取り組む前に、重要問題習得講座を用いて論文の書き方を漠然と学べたこと、少なくとも対応できなければならない重要な問題について、そもそもどれがそ

れに当たるのかを知れたこと、そしてその取り組み方を知れたことも大きいです。

最終的には重要問題習得講座で学んだ知識、起案法を用いて、司法試験の過去問や他社の答練などを解き、時には友人と時間を計って起案するという自主ゼミを組むなどして演習を重ね、本番に向けた準備を整えました。

その結果合格を掴むことができました。本当にありがとうございました。

令和6年度

司法試験合格

法曹が主人公の映画やテレビ番組を視聴

高橋 俊博さん (50代)

法科大学院卒業

受講していた講座

司法試験答練、予備試験 論文過去問解析講座、旧司法試験 論文過去問解析講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は、複数回の受験を経験しておりますので、まず、初めてアガルートの講座を受講しようと思った際に、どうしてだったかからお話したいと思います。

数年前にさかのぼりますが、その当時、私が選択した講座は、民法及び商法の旧司法試験論文過去問解析講座でした。当時は、司法試験の両科目では、旧司法試験時代に良問といわれた問題と類似した問題が出題される傾向がみられるといわれていました。そこで、旧司法試験の問題を紹介し、解説してもらえる講座を探すことにしました。正直なところ、その際に、他社も数社検討したと記憶しております。しかし、他社は、対応する講座がないか、近い講座はあっても、全科目受講する必要がある等の制約があり、私の希望する民法・商法に絞っての講座というのは見つかりませんでした。そんな時に巡り合ったのがアガルートだったのです。アガルートは、私が希望した旧司法試験の講座を科目別に開講されていました。しかも、例えば、各科目で定評のあるものの解答が本に記載されていないため、自習では十分な成果を得にくい、市販の事例演習本について、アガルートでは、多くの解説講座を設けておられるなど、受験生のかゆいところに手が届く、きめ細かい講座開設をされていることを知りました。このような講座開設は他社には見られないものであると感じました。さらに、このような独特な講座について、アガルートでは、申し込み前に、無料で一部を視聴し、教材の一部もご提供いただけるため、先生方の質の高さ及び教材の内容の信頼性を確認してから申し込むことができました。

そこで、私は、本年の司法試験受験に際して、信頼できる答練を探していた際にも、受験生のニーズを、受験生の身になって積極的に採り入れるアガルートの精神を、上記過去の経験から体感していたことから、迷わず、アガルートを選ぶことにしました。

合格体験記

私は、物事を習得する方法について次のような持論を持っております。それは、物事は、

基本中の基本と最先端の実践が大事であり、その両側を学ぶべきだということです。そのような学びを継続すれば、やがて両者が出合い、結びついて、花開くと考えているからです。私は、新たに法律を学んでいく上でも、この持論に従っていきこうと決めました。

まず基本中の基本に関しては、前職を退職後、純粹未修から法律の勉強を始めましたから、当初は、法的思考や論理的思考といった、司法試験の論文試験の答案を書く上での基本的な思考が備わっていたとはいえ、その点から改善すべきと考えました。そこで、実務法曹の先生が出演するテレビ番組の視聴や参加される講演会への参加をできるだけ行ったり、テレビや映画で法曹が主人公の場合や、法律問題が主題である場合には、とにかく目の前にあるすべてを視聴することをしました。そのようにすれば、実際に法曹で活躍されている方々や、そのような方々をモデルにして描かれているはずの登場人物たる実務法曹が、それぞれどのように考え、どのように行動しているかを目の当たりにできて、法的思考や論理的思考を学ぶ一助になると考えたからです。また、試験に直結するテクニカルな面では、短答式試験の勉強を大事にすることにしました。司法試験の短答式試験は、民法、憲法及び刑法の3科目だけではありますが、これらの科目では、短答式試験でよく問われるような論点を基礎にした論文試験の問題が多く出題されていると感じております。従って、当該3科目については、短答式試験の勉強に力を入れたということは全体の合格に向けての取組みとしても間違っていないかと思っています。また、短答式試験が全科目について要求されている予備試験合格者の司法試験での合格率の高さも、このようなアプローチの正しさの一つの証明であると思います。

次に、最先端の実践は司法試験対策としては答案の起案を積極的に行うことであると考えました。通常言われるように司法試験の過去問ほど優れた題材はないのは当然ですが、似ていることはあってもまるで同じ問題は出ないわけですから、過去問を十分に研究して出題される新規の問題で起案することも非常に重要であると考えました。そこで、私は、アガルートの司法試験答練を受講しました。受講の仕方としては、まず、初見で、何も見ずに、2時間で起案を作成して提出した後、模範解答と解説を見て模範的な書き方や問題に関連する知識を学び、その後、解説講義を聞いて知識の定着を図り、最後に返却された答案を採点基準と照らし合わせて、自分が書き漏れた点を確認するという順で行いました。一方、過去問については、過去3か年分を起案しました。しかし、本年は、不幸にもそれを添削していただく機会がなかったため、自ら出題趣旨で模範解答を、また、採点実感で目標答案を探った上で、自己採点するしかありませんでした。そこで、アガルートの答練で、添削及び採点を受け、どのような採点基準で採点したかを明示していただいたことは、非常に有意義であり、最終的に合格を勝ち取れた大きな力になったと思っています。

私の場合、受験回数も多く、制度変更で在学中の合格者も多数存在するようになった今、今後の受験生の皆様に上記のような体験談がどの程度参考になるかは正直わかりません。しかし、法曹になろうとした初心を忘れずに、実務法曹になるという最終ゴールを意識して、日々取組むという心構えが大事だということは今後受験される皆様におかれましても同様であると考えます。私が時間はかかっても実務法曹になるスタートラインに立てたの

もそれを忘れなかったからであると確信する今日この頃です。皆様の司法試験合格を心より祈念しております。

令和6年度

司法試験合格

過去問講座は自分で答案例を考えるよりはるかに効率的

松本 祥吾さん (30代) 【総合52位】

法科大学院卒業

受講していた講座

司法試験 論文式試験「予想論点攻略講座」、一般教養科目対策講座、租税法 / 過去問解析講座
租税法 / 論証集の「使い方」

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は、税務に関する業務の経験がありましたので、効率性の観点から、選択科目を租税法に決めておりました。そして、司法試験租税法の攻略法について、様々なインターネット記事をみると、過去問演習が重要と記載している方が多かったため、司法試験租税法の過去問講座と論証集を探しておりました。また、基本的な知識は、実務で習得しているかなと思っておりましたので、総合講義のような授業形式の教材は不要と考えており、過去問講座、論証集、総合講義を別売りしている予備校を探しておりました。

実際に探してみると、租税法を毎年選択する方が少ないためか、司法試験の過去問講座と論証を販売しているところが少なかったです。そのなかで、論証集と過去問講座が分けてあり、暗記用教材と演習教材が別々であることで使いやすいことと、価格が安いことからアガルートアカデミーを選びました。また、YouTubeなどで授業を見てみると、しっかりインターネット講座に対応しており、レジュメもあらかじめ印刷されたものが送られてくるなど受講者に配慮した取り組みがなされている点も、アガルートアカデミーを選んだ理由です。

合格体験記

司法試験過去問を演習することが大事と聞いていたので、とりあえずまず一通り、目を通し、自分の頭で考えることが重要と考えたため、答案構成だけを行いました。それをこなしていくと、同じところが毎回問われることがわかりましたので、これを周回することが効率的であると考えました。

スタンダード所得税法とスタンダード法人税法という基本書は、採点実感でも言及されるくらい著名かつ有用な書籍であるので、これを使いました。また、判例集は租税法判例

百選7版を使っておりました。そして、論証集は判例百選へのリファがしっかりしており、とても有用でありました。

論証は、司法試験過去問を解いて足りないところは論証を新たに作ったりしていました。司法試験の過去問は、答案構成で3.5周くらいしました。起案は最後までませんでした。

過去問講座の教材は、司法試験問題、解き方、答案例、出題趣旨及び採点実感が収録されており、自分で印刷し、答案例を考えるよりはるかに効率的でありました。答案例が、出題趣旨や採点実感を踏まえて作成されているため、書くべきことが明確にわかりました。

令和6年度 司法試験合格

自分で答案を作成しているだけでは困難

桜井 哲平さん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

重要問題習得講座

合格体験記

アガルトアカデミーを選んだ理由

私がアガルトアカデミーを選んだ理由は、アガルトの講座が他の予備校よりも安価であり、経済的にあまり裕福でなかった私にも手が出しやすい予備校であったからです。私が司法試験の勉強を開始したのが大学1年生の時(2019年)からでして、アガルトの講座を受講したのが大学2年生からになります。当時私は基本書の通読によりインプットを行い、基本書を参考に答案を作成していました。しかし、自分で答案を作成しているだけでは模範となる答案が分からず、自分の答案が合格答案にどれくらい近いかを把握することが困難でした。そのようなときに、私は予備校の問題集を購入して模範答案を参考にしながら勉強を進めていきたいと思うようになりました。このような経緯から各予備校の講座について調べていたのですが、どこの予備校の講座も高価格であり、購入する決断をなかなかできずにいました。そのような中で、アガルトの講座は他の予備校よりも安価であり、初めに手を出しやすい予備校でありました。また、当時アガルトの講座はSNS上で評判も良かったこともあり、これらのことからアガルトの講座を選ばせていただきました。

合格体験記

論文対策をする上で重要なのは司法試験の過去問であると思います。

論文式については、司法試験の過去問を中心に勉強をしていました。司法試験の過去問に着手したのは既修1年目の夏休み頃でした。当時は、司法試験の問題の答案作成を、何も参考にせず時間を計って行うことは困難であったため、単に問題と出題趣旨、採点実感を読んでいました。既修1年の秋頃からは、時間は計らず、また、基本書等を参照しながら答案作成をし始めました。答案作成後、出題趣旨・採点実感を読み込みました。また、市販の司法試験の解説本を用いて優秀答案と自分の答案を比較し、自分の答案の添削も行いました。そして、最後に過去問で出た論点を論証集等で確認し、適宜論証の修正等を行

いました。この一連の勉強を司法試験直前まで繰り返し行いました。

当たり前ですが、司法試験に合格するためには論文式試験において合格答案を書く必要があります。そして、合格答案を書けるようにするためには、どのようにすれば合格答案を書けるのかという部分から逆算して勉強をしていくことが重要であると考えます。そのためには、実際に出題された司法試験の問題（過去問）を中心に勉強していくことが必要不可欠と考えます。

また、短答対策についても主に過去問を何度もやりました。また、短答知識を一元化するために市販の教材も用いました。

令和6年度

司法試験合格

最低限の知識で合格答案に導けることを意識

小林 周平さん (30代)

法科大学院卒業

受講していた講座

経済法 / 過去問解析講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私自身、選択科目の学習方法が不明瞭であったが、ロースクール等で一から勉強するのは非効率であると思い、独学で勉強を始めた。意識していたことは最低限の知識で合格答案にまで導けることであった。そこでまず基礎知識を入れることに注力した。

その後、過去問演習に移行したものの、何を書けばよいかわからず、指針となる講座が見当たらなかった。唯一アガルートのみが過去問解析講座として経済法の過去問の詳細な分析を行っていたので、ぜひ受講したいと思った。

実際にそこで書かれていたのは規範に加え、より詳細なあてはめ。時には割り切った解答例なども示されており、ここでなら自分の経済法の解答レベルを格段に上げることができると思い、受講に踏み切った。

実際に司法試験当初なかなか伸び悩んだ経済法も過去問解析講座を通して合格水準にまでもっていくことができたので感謝している。

また解説動画がついており、自分が考えたこととの齟齬を埋めることができるのもアガルートアカデミーを選んだ理由だった。

合格体験記

基本的に1日8時間を目標としていた。実質的に机に向かっていたのは6時間くらいで、他は隙間時間に暗記物をやるなどした。推奨する時間については一概に言えないが、自分の物理的、能力的に用いることができる時間はなるべく投入するべきだと思う。ロースクールの授業について心掛けたことは「司法試験に直結する勉強にのみ重点を置くこと」「学術的論点や知的好奇心に淫し、誤った勉強に走らないこと」であった。授業についても常に司法試験の事例問題を意識し、基本的に予習は30分前後で終わらせていた。これは本試験の答案構成の時間であり、これを超えて考えることは本試験との関係では不要な作業

であるからである。

「過去問」はもっとも最重要視すべき問題演習である。過去問と向き合うことこそが合格への最短ルートであり、それ以上のことは望まれていない。過去問は全ての演習書より優先して解くべきであるし、起案できなくともどう解くか、常に戦略を見据えるべきである。

令和6年度 司法試験合格

市販の基本書だけでは徐々に限界を感じた

K. F さん (20代)

予備試験合格

受講していた講座

重要問題習得講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は、最初は市販の基本書等を読み込んで勉強していました。しかし、基本書等だけでは徐々に限界を感じ始めました。そして、成績を上げるためには、問題集が必要だと感じました。そのため、問題集だけを買おうと考えました。

そして、問題集を扱っている予備校のクチコミ、及び、市販の演習書のクチコミを調べました。クチコミは、ツイッター（現X）などのSNSを中心に調べました。

調べてみると、明らかに評判が良かったのがアガルートでした。特に、民事系の評判が良い印象を受けました。

そのため、アガルートの重要問題習得講座のうち、民事系について受講することにしました。

また、刑事系についても、刑事訴訟法については、アガルートの重要問題習得講座の評判が良かったです。そのため、刑事訴訟法についても重要問題習得講座を受講することにしました。

このような理由で、私はアガルートを選びました。

合格体験記

最初は、予備校の薄めの本で基礎知識を得ようと思いました。そして、分野を読み終えるごとに短答式の過去問を扱うことにしました。しかし、最初は問題文の意味すら分からず、全然解くことができませんでした。そのため、しばらくは本をじっくりと読み込むことにしました。

基本的な知識が身についた後は、論証集などを読んで、論点についての知識を得ようと考えました。論証集などで軽くではありますが、どのような論点があるかについてある程度はわかるようになりました。

その後は、問題集を扱うことにしました。ここで使った問題集が、アガルートの重要問題習得講座です。重要問題習得講座は、具体的な事例の問題文を読んで、その事例から問題点を抽出する訓練をするのに非常に役に立ちました。

その後、ロースクールの授業で再び基本的な知識を入れ直しました。これにより、今まで得た知識が繋がりはじめて、新たな視点を得ることができました。

このような学習を通じて、合格を勝ち取りました。

令和6年度

司法試験合格

「論証集の『使い方』」が大きく合格に役立った

井上 祐輔さん (20代)

予備試験合格

受講していた講座

論証集の『使い方』

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

「論証集の『使い方』」という講座が合格者の中でかなり評判が良いことをSNSを通じて知ったことがきっかけです。もともと市販で販売されているアガルートの論証集を使っていたのですが、この論証集がかなり使いやすく日頃から愛用していました。「論証集の『使い方』」という講義は、先生方がテキストに記載されている論証を音声として話してくれるので、電車などテキストが取り出せない時など、空き時間に耳から勉強できるという点が非常に魅力的に感じ、受講しようと決意しました。30時間という短い講義時間でありながら、7科目の重要項目について総ざらいすることができるといえる点で非常にありがたかったので、予備試験に初めて合格するまでの間は毎日講義を聴いていました。予備試験に合格してから少しブランクが空き、本腰を入れて司法試験の勉強を始める時も、まずは本講義の音声を聴いて、勉強を再開いたしました。本講義が大きく司法試験合格に役立ったと自信を持って言えます。お世話になりました。

合格体験記

初めはコロナ禍で何もすることがなく、昔から興味があった法学を勉強してみようと思ったのが予備試験・司法試験を受験しようとしたきっかけです。実際に本腰を入れて勉強してからは、とにかく「ゴールから逆算して今やるべきことを細分化して決める」ということを徹底していました。司法試験に合格するためには、過去十数年の過去問を完璧にして、本番で同様の形式の問題が出た時に合格点を取ることが必要であるので、これを「ゴール」に設定して、そのために今すべきことを自問自答して、毎日の計画を立てていました。司法試験に合格するまでにどんなに短くても2-3年間ほど期間を要します。この長い期間にモチベーションを保ちつつ、方向性を間違わないで正しい方向で勉強を続けられるように、大まかなゴールを設定して、そのゴールに向かって日々精進していくこと

が合格への一番の近道だと考えています。辛いこともあるかと思いますが、合格した時の達成感は感慨深いものがあります。応援しています！

令和6年度

司法試験合格

非法学部出身で法律に触れたことがなかった

M. Iさん (30代)

法科大学院卒業

受講していた講座

予備試験1年合格カリキュラム / マネージメントオプション
司法試験 論文式試験「予想論点攻略講座」

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

予備校についてリサーチをしている際に、他の予備校にはないマネージメントオプションという制度があり、とても魅力的に感じたからです。私は、非法学部出身で、法律には触れたことがなかったので、一人で勉強を進められるか不安に感じていました。また、社会人になってから勉強を始めたこともあり、周りに司法試験について詳しい人がいなかったもので、勉強計画の作成や定期的に面談や添削等のフォローアップをしてもらえる体制が必要だと思いました。講座申し込み前に、無料相談をした際も、いつの時期に何の教材をやるのが明確だったので、これなら自分にもできると思い、申し込みをしました。マネージメントオプションは高いと思いましたが、講師の方の個別指導や全ての講座が付いているので、これだけあれば大丈夫という安心感から申し込みをしました。

合格体験記

私は、初学者だったので、総合講義300からインプットを始めました。最初はわからなかったですが、講義の中で、複数回同じ部分を復習してもらえたので、わかりやすかったと思います。

基本的なことができれば、他の受験生に負けなかったと思ったので、重要問題習得講座を繰り返し解きました。まずは、ロー入試までに3周、ローに入学後、司法試験までにプラス3周はしました。

ローに入学してからは、授業の進度に合わせて、重要問題習得講座の該当分野を確認するようにしていました。歴代の先輩方からも、重要問題習得講座は、網羅性がある教材で、これをやっていれば、基本論点は書き負けないと伺っていたので、重要問題習得講座に出ている論点は書けるように答案構成と解答例の確認を繰り返しました。司法試験の問題は

とても難しいですが、重要問題習得講座に載っていることが書ければ合格ラインに辿りつ
けると思います。

重要問題習得講座や短答でわからない部分が出てきた時には、総合講義へ戻って確認す
るようにしていました。断片的な知識を増やすより、点と点を線で結んで各論点の理解を
深めていくことが大事だと思いました。

令和6年度

司法試験合格

重要問題習得講座で実力がぐんぐん伸びていった

S. Nさん (20代) 【総合 42 位】

予備試験合格

受講していた講座

論証集の「使い方」、重要問題習得講座、予備試験 口述試験対策講座、総合講義 300

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートアカデミーを選んだ理由の一つ目は、過去に司法試験を合格された受験生からの口コミです。知人やSNS上でさまざまな司法試験・予備試験合格者の感想を聞きましたが、皆口を揃えてアガルートアカデミーの教材（特に重要問題習得講座）を絶賛されていました。

アガルートアカデミーを選んだ理由の二つ目は、講座の価格が他の予備校に比べて安かったからです。アガルートアカデミーの教材は、質が非常に高いにもかかわらず、他の予備校に比べてかなり低い値段で講座が販売されており、勉強とバイトを両立させる観点からとても助かりました。

アガルートアカデミーを選んだ理由の三つ目は、教材の質の高さです。アガルートアカデミーのホームページで公開されている教材のサンプルを拝見して、そのクオリティーの高さに感銘を受けました。アガルートアカデミーの教材は、ただ正確だけでなく、わかりやすさと試験合格への効率性に重点が置かれているのが素晴らしいと思いました。

合格体験記

私は当初予備校の教材を使わず、市販されている学者の先生の基本書を用いて勉強を進めていました。しかし、基本書だけでは、具体的にどのような形で論文式試験の答案を作成したらいいのかについて具体的なイメージがわからず、学習が行き詰まってしまいました。そのような時に、先輩からの口コミでアガルートアカデミーの重要問題習得講座の存在を知りました。早速、重要問題習得講座を購入して解き進めてみたところ、今まで基本書通読によって得てきた知識を答案としてどのようにアウトプットすべきかがわかり、自分の実力がぐんぐん伸びていくのを感じました。また、基本書と重要問題習得講座を交互に行き来することによって、両者の理解が深まるという相乗効果が生れました。このような

勉強を続けた結果、私は司法試験予備試験に一発合格し、その翌年の司法試験も合格することができました。もしアガルトアカデミーの教材を使っていなければ、このように短期間で司法試験・予備試験に合格することはできていなかったと思います。

令和6年度

司法試験合格

知的財産法過去問講座は是非受講するべき

Y. Kさん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

司法試験 論文過去問解析講座、知的財産法 / 論証集の「使い方」、知的財産法 / 司法過去問解析講座
法科大学院入試過去問解析講座 / 京都大学、論証集の「使い方」

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

知的財産法の試験対策について、当初は市販の教材での対策も検討しておりましたが、より確実に合格を勝ち取るべく予備校を利用した試験対策に切り替えました。

知的財産法の試験対策講座は他の予備校ではあまり充実していなかったため講座選択に迷っていたところ、友人からアガルートの知的財産法過去問講座を勧められて受講を検討しました。最終的に受講に至った決め手はやはりテキスト内容の充実度の高さです。各年度の過去問について、出題趣旨、採点実感を踏まえた上での詳細な解説が記載されているため、過去問を解いて解説を読む度に理解が深まりました。また、単に出題趣旨に沿った解説をするだけでなく、時には出題趣旨を批判する視点での解説や出題趣旨とは異なる答案筋の解説も併せて載せられていることもあり、さまざまな角度から検討を加えることで応用力を鍛えることもできました。知的財産法の過去問対策をする場合には出題趣旨・採点実感だけでなくアガルートの当該講座も是非受講するべきだと思います。

合格体験記

私は学部生の頃に他の予備校で入門講座を受講しておりましたが、成績が思うように伸びず悩んでいました。そこで日々の学習をアウトプット中心に切り替え集中的に問題演習に取り組んだところ、成績が向上しました。この経験を活かし、司法試験に向けた対策としても主に過去問演習に取り組んだことが合格に直結したと感じております。

過去問演習に取り組むことで、どの範囲の知識が不足しているのかが明確になります。漫然とインプットに取り組んでいた頃には理解できていない範囲や理解できたと感じていても実際の答案にうまく表現できない範囲が多くあり、それを試験当日に痛感することが多々ありました。このような事態を司法試験当日に回避することができたのは、やはり日々

の学習の中心を過去問演習に切り替え、そこで浮き彫りになった知識不足を補うという流れを徹底したためだと思います。成績の伸び悩みを感じている方は、ぜひ知識を活用する学習を取り入れてみてください。

令和6年度

司法試験合格

総合講義から自作の論証を作り演習を繰り返した

組橋 祐貴さん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

国際私法 / 総合講義、予備試験1年合格カリキュラム

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

大学の先輩や同期、ツイッター（現X）などを見ていて、とてもいい評価を集めている予備校だなという印象をアガルートに対して持っていました。そして、司法試験の選択科目を決めるときに、アガルートの講座販売ページを見ました。そこでは、ガイダンス動画やサンプル動画が公開されていました。それを実際に視聴することで、授業がどのように展開されていくかについてかなり具体的なイメージを持つことができました。また、レジュメが公開されていて、読みやすいなという印象を持ったのでアガルートで国際私法を勉強することにしました。もっと言うと、アガルートの国際私法の授業の購入ページには、司法試験合格者の声が挙がっています。上位合格されていた先輩方からの講座に対する評価がとても高かったこともアガルートの国際私法の講座を購入した理由です。また、他の予備校と比較して、講座の費用が圧倒的に安いのが学生である私にとっては非常にありがたかったです。

合格体験記

短答学習についてはひたすら市販の過去問集を周回しました。苦手な分野については何度もやりました。全体的な周回は各科目で3周くらいだと思います。

基本7科目の論文演習については早いうちに過去問演習に取り組み、司法試験で繰り返し問われている問題意識を何度も確認するようにしました。特に、刑事訴訟法や行政法については全ての年度を起案しました。その他の科目についても、全ての年度について答案構成は行いました。そこで、処理することができなかった問題や意識できなかった条文などについては、できるようになるまで繰り返しやりました。また、本番を意識して、時間を計って起案することを心がけていました。

国際私法に関しては、アガルートの総合講義から自作の論証を作り出して本番でそれを

しっかり再現できるように演習を繰り返しました。国際私法は、同様の問題が繰り返して出題されることが多い科目なので、この勉強方法はすごくおすすめです。

令和6年度

司法試験合格

法科大学院在学中に受験対策ができず焦っていた

Y. Oさん (30代)

法科大学院卒業

受講していた講座

重要問題習得講座、国際私法 / 司法論文過去問解析講座

合格体験記

アガルトアカデミーを選んだ理由

私は法科大学院卒業の資格で司法試験を受験し、卒業後初めての試験で合格することができました。もっとも、お恥ずかしい話ですが、法科大学院在学中は、法科大学院に設置されている講義がとても面白く、論文を書いたり、外国語で授業を受けたり、外国法について勉強する等、司法試験とはおよそ関係のない講義にも真剣に取り組んでいました。このような背景から、法科大学院在学中は、司法試験に向けた、いわゆる受験対策・試験対策的な勉強や、司法試験の過去問に取り組むことなどは、ほとんどできていませんでした。そのような状態で法科大学院の卒業式を迎えたので、司法試験当日まで半年を切ったところで、とても焦っていました。そんな時に、信頼する先輩が前年に司法試験に合格していたので、ご自身の経験を踏まえてどのように試験に向けて勉強するのが良いかを相談しました。その先輩は、アガルトの重要問題習得講座を使っていたことを教えてくださりました。とはいえ、その重要問題習得講座が自分に合うかどうかは当初は分かりませんでした。それでも、まずは試そうと思って取り組み始めました。

合格体験記

前年に司法試験に合格された、信頼している先輩から、重要問題習得講座を使っていたとききました。それがきっかけで、自分も重要問題習得講座に取り組みはじめました。

アガルトの重要問題習得講座は、厳選された問題がぎっしり詰まっているとききました。なので、これを全部マスターすれば大丈夫だと信じて、取り組むことができました。学習方法は、とても単純でお恥ずかしいですが、問題集をとにかく何回も何回も繰り返し解き続けました。

正直なところ、何度も同じ問題集を繰り返す勉強方法では、知っている問題にばかり直面するので新しい問題に直面する機会がなくなってしまい、本番の司法試験で全く初見の

問題に直面しなければならないということを考慮すると、必ずしも完璧に適した勉強方法ではなかったかもしれないとも思っています。とはいえ、何度も繰り返して叩き込むやり方は、自分にはとてもあっていたようで、試験直前まで何度も何度も繰り返して取り組みました。

令和6年度

司法試験合格

非法学部卒の社会人としての受験を経て

H. Kさん (30代)

法科大学院卒業

受講していた講座

予備試験1年合格カリキュラム マネージメントオプション、国際私法 / 3講座パック

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

司法試験を受験し法曹になろうと思い立った時、私は非法学部卒の社会人で働いていました。法科大学院の未修コースは留年率が高い一方、司法試験の合格率もそう高いとは言えないこと・仕事を辞めて3年も学生生活するのは金銭的ハードルが高いことから、未修コースへの進学は難しいと思いました。そこで、まずは予備校の力を借りて働きながら学習を始めてみようと思いました。非法学部卒で法律の基礎知識が全くない私にとって、インプットのための講義時間が莫大な予備校は合わないと考えていました。アガルートアカデミーは他社と比較すると講義時間が短かったことから、司法試験合格のために必要な知識を短時間で習得できるようにコンパクトにまとまっていると思われたこと・プロの講師による添削指導を受けることができ質問もできる制度が整えられていること・1週間でどの程度の講義を視聴し演習問題を解いていけばいいのかという学習の進捗管理をもらえることから、自分に合うと思い選びました。

合格体験記

市販の基本書や演習問題集は一切使わず、アガルートアカデミーのテキストと問題集のみを使って働きながら勉強を始め、約1年後に受験した予備試験の結果は短答は合格・論文は1000番程度で不合格という結果でした。司法試験は無謀な挑戦ではなくいずれ合格できると考えたことから、仕事を退職し法科大学院の既習コースに入学して在学中受験を目指すことにしました。法科大学院受験にあたっては、重要問題集を繰り返し復習しました。法科大学院入学後もアガルートアカデミーの総合講義テキスト・重要問題習得講座を使い続けていました。論証集はあまり使っておらず、重要問題習得講座の問題とその解き方・模範解答から、自分なりに型と思えるものを把握し覚えるという形で学習していました。法科大学院の定期試験対策にもアガルートアカデミーの教材は役に立っていたので、この教材は司法試験合格に必要な内容が詰まっているのだらうと思います。教材のほかは

司法試験の過去問・採点実感・出題趣旨に繰り返し触れることで無事1回目の受験で合格することができました。法律の学習を始めて約1年半後に法科大学院既習コースを受験、入学後に在学中受験をしましたので法律の学習を始めてから3年弱での合格でした。

令和6年度

司法試験合格

重要問題習得講座をしっかりとやって基礎を習得

S. Nさん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

法科大学院入試過去問解析講座 / 神戸大学、法科大学院入試過去問解析講座 / 大阪大学、重要問題習得講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私がアガルートアカデミーを選んだのは、価格が安いことと講座の評判が良かったことです。私は、ロースクール入試を受験するにあたって、重要問題習得講座と法科大学院入試の過去問解説講座を受講しました。私は、学部時代に授業で法律を学んでいたものの、身につけている実感がなかったため、ロースクール入試を突破するためには網羅的な問題集を回すことが必要だと考え、そのような講座を探していました。そして、重要問題習得講座は、法曹を目指している私の友人で受講している人が多く、評判が良かったため受講を決めました。また、バイトはしていたものの、購入に充てられる資金が少なかったため、価格が安いことも受講を決めた理由のひとつです。法科大学院入試の過去問解説講座については、ロースクール入試を受験するにあたって過去問分析の重要性を感じていましたが、過去問の答案例や解説がなかったため、この講座を受講しました。他に、法科大学院入試の過去問を解説している予備校は少なかったため、アガルートアカデミーを選びました。

合格体験記

全体像としては、論文は、重要問題習得講座を回したうえで過去問分析を行いました。短答は、市販の過去問集を回しました。

論文式試験についてですが、法科大学院入試の時点で重要問題習得講座を2周ほど（科目によってはそれ以上）していたと思います。ロースクールに入学後、司法試験の過去問の検討を徐々に始めていきました。既修1年目は授業の負担が多く、自分の勉強に充てられる時間はそんなに多くありませんでしたが、週に1回は自主ゼミで過去問を検討する機会を確保していました。また、私は、基本7科目のうち公法系以外は、アガルートの市販の論証集を使用しており、これを暗記する時間も意識的に設けていました。既修1年目の夏休みでは、復習を兼ねて、重要問題習得講座の答案構成を1周しました。既修2年目で

は、司法試験過去問を重点的にしていきました。過去問は、前年度分検討することは時間的に不可能と判断し、科目ごとにやるべき年度を決めて検討しました。本番前1か月くらいからは、論証集の暗記と分からない部分をつぶしていく作業を中心に行いました。

短答式試験については、本番の前年の12月頃から、市販の過去問集を計画的に解いていきました。間違えた問題の復習をカウントすると、3周くらいはしたと思います。

私の受験勉強を振り返ってみると、重要問題習得講座をしっかりとやって基礎を習得したことが、合格に直結したと考えています。

令和6年度 司法試験合格

全くの純粹未修での受験

児玉 桃さん (20代) 【総合80位】

法科大学院卒業

受講していた講座

重要判例解説解析講座、短答過去問解説講座Ⅰ、倒産法 / 司法論文過去問解析講座、司法試験 論文過去問解析講座
予備試験1年合格カリキュラム、論証集の「使い方」、倒産法 / 4講座パック、重要判例解説解析講座
予備試験論文式試験「予想論点攻略講座」

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

予備試験1年合格カリキュラムライトが当時の割引で安価で受講できるとのことで、これならなんとか貯金から出せそうということで選びました。1年合格カリキュラムは、論証集、重要問題習得講座、短答問題集が入っており、自分に必要な講座が全て入っていました。ただし、高額はバイトのみの学生の出費としては出せませんし、安くても実績がないと不安です。アガルートは実績があり、司法試験合格を目指す友人も多くアガルートを受講しており、安心感がありました。

私は学部は法学ではなく、全くの純粹未修だったため、独学で予備試験/司法試験に合格した方のブログを読み漁りました。そこでアガルートの重要問題習得講座が非常におすすめるであるとのことだったので、受講を決めました。大学卒業後に未修で法科大学院に入学したのですが、学校の期末テスト対策には論証集と重要問題習得講座が絶対に必要だと感じました。基本書だけでは問題は解けるようになりません。そこで、司法試験合格に必要な教材が全て含まれており、単体で買うよりも合計金額が安かった1年合格カリキュラムライトを受講しました。

合格体験記

終わってみて感じるのは、「重要問題習得講座」(重問)、「論証集の『使い方』」(論証集)、「司法試験論文過去問解析講座」(過去問)、「短答過去問解説講座」(短答)が重要であり、逆に、これらで必要十分です。

短答：短答知識は細かいというのがありますが、過去問を解いていけば大体解けるようになります。4周しました。

論証集：論証を侮る風潮もありますが、私は法学部出身ではなく、純粹な未修でしたから、まずは呪文のように論証を暗記することが必要でした。貼り付ければやはりある程度の

点数は取れますから、右も左もわからない人は、勉強方法に迷う時間をもったいないのでまずは暗記すれば一定程度の点数が取れるようになります。私は暗記→理解の順でしか勉強できないので、論証を覚えることが合っていました。

重問：問題を読んだときにすぐにどの論点をか気付くための反復練習教材として大変良かったです。大体の必要な論点が網羅されています。司法試験までに6周しました。

過去問：1周しかできませんでしたが、やはり司法試験の問題レベルが非常に高いので、慣れておく必要があります。また、似た問題が出ることもあります。できれば2周以上の方が良いとは思いますが、最低限は1周（私は答案作成は最新5年分のみ、それよりは前回は答案構成のみしました）するのが良いと思います。

令和6年度 司法試験合格

論文対策に悩みを抱えていた

渡辺 菜月さん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

耳で覚える重要項目 300・1問1答、重要問題習得講座、論証集の「使い方」

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は大学時代、論文を書くときにどう答案構成したらよいのか分からず、論文対策に悩みを抱えていました。基礎講座や論文対策の講座を別の予備校で受講していたのですが、論文に関しては講座を受講してもそもそもどう答案構成したらよいのか分からない、どう勉強したらよいのかわからず仕舞いになってしまい、何か別の方法を考えなければならなかったと思っていました。

その際に石橋先生のYouTubeチャンネルを拝見し、先生が動画で共同正犯についての解説をされていて、その解説がとても分かりやすく自分にずっと入ってきたこと、大学で周りの人もアガルートを利用している人が多く、良い評判を聞いていたことから、まず市販の実況論文講義を購入しました。

教材を利用してみて、自分が答案構成する時にどのように組み立てていけばよいのかの思考過程が分かるように、丁寧な解説がされていて、自分に合っているのではないかと感じたことから、網羅的に論文の勉強ができるアガルートの重要問題習得講座の受講を決めました。

合格体験記

私は一回目で論文落ち、二回目で合格することができました。

短答式試験に関しては、分野別に収録されている過去問集を3～4周し、その後は年度ごとに時間を計って解いていました。解いた後は間違えた選択肢や正解していたが理由が説明できない選択肢についての知識をまとめノートにまとめていました。直前期や本番当日に焦らないように、これさえやればOKという心の拠り所を作っておくことを心がけました。

論文式試験に関しては、自分の答案を誰かに見てもらう機会を意識的に作るようにしていました。先輩に添削してもらったり、友人と自主ゼミを組んだり、ロースクールでも教

授に答案を見てもらえるような授業を履修するなどしていました。

二回目受験の際は①たくさん問題をこなさなければという焦りから答案を書かずに答案構成のみで終わらせてしまうことが多く、論文を書く練習が不足していること②論証をぱっと思いつく瞬発力がなく、思いつくのに時間がかかってしまうことが一回目の敗因だと分析をし、足りない部分を補うことを心がけ勉強していました。

令和6年度

司法試験合格

安心して自分のペースで学習を継続できた

E. Tさん (20代)

予備試験合格

受講していた講座

倒産法 / 3講座パック、採点実感から読み解く合格答案の「型」習得講座、予備試験1年合格カリキュラム
重要問題習得講座、論文答案の「書き方」、総合講義 300

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートを選んだ理由は大きく分けて3つです。

まず、マネオプを除いたトータルの金額が他の予備校の半分以上でコスパが良い点です。私が1年合格カリキュラムを購入したときは数十万円程度で、トータルの教材がこの値段で手に入るのはとても魅力的だと感じました。コスパが良くても中身が伴わなければ無意味ですが、アガルートは提供される教材が非常に充実しており、予備過去問、短答、旧司法試験過去問などが揃っていたためプラスで買い揃える必要がないというのも魅力的でした。

次に、自分のペースで勉強できることです。自分のペースでコツコツ勉強したい私にとっては、対面講座よりもオンラインで自分の予定に合わせて勉強できる予備校の方が合っていると感じました。

最後に、コロナ禍の際に実施された民法の総合講義の無料プレゼント企画によりアガルートの講義を実際に体験して司法試験の勉強が具体的にイメージできたからです。この企画のおかげで司法試験の勉強を本格的に始める際のハードルが下がり、スムーズに学習をスタートすることができました。

合格体験記

私はまず、「総合講義 300」の講座を視聴しました。この講義で私は各科目の基礎的な内容の重点を押さえた上で学び、各法律の全体像を把握することができました。そして、総合講義を終えた科目から「重要問題習得講座」に取り組みました。全科目重要問題習得講座を解き終えた後は、予備試験の過去問に取り組みました。過去問を解いた後は、解説をしっかりと聞き、わからない部分を丁寧に復習しました。短答試験対策としては、過去

問を解きながら総合講義のテキストを再度読み直し、知識の整理をしました。また、短答プロパーの知識に関しては「短答知識完成講座」を活用していました。重要なところだけがテキストに載っているため、効率よく学習を進めることができました。

アガルートのカリキュラムは、無理なく学習効率を考えた上で練られており、カレンダー通りに進めていけばちゃんと合格できると思い、安心して自分のペースで学習を継続することができました。加えて、アガルートのテキストはカラフルで視覚的に非常に見やすく、フォントも読みやすいため、学習効率が高まりました。このようにアガルートのカリキュラムと教材を余すことなく使い、合格を勝ち得ました。

令和6年度

司法試験合格

コツコツ勉強できない性格のため短期合格しかない

網本 凌さん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

予備試験1年合格カリキュラム、労働法 / 4講座パック

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私の周りには、法曹志望がいなかったため、自身で情報収集をするしかなく、最初は、司法試験予備校について調べたらトップに出てきて、唯一名前を知っていた他校への入塾を検討していました。

ただ、講座の費用が思っていたよりも高額であったため、費用面にかかわらず、講座の口コミなどによる評価について、他の司法試験予備校としっかり比較検討してから、どの予備校を選択するかを決めようということとなりました。

そして、YouTubeやテレビで、アガルートアカデミーの広告を目にし、その名前を知るに至りました。

アガルートアカデミーについてよく調べてみると、だんだん合格者を増やしていったといった実績があることや、講座の価格も他の司法試験予備校と比較しても抑えめであったこと、また、開設している講座の口コミ評価も良かったことから、合格に一番近くことのできる司法試験予備校であると考えたため、アガルートアカデミーに入会することとしました。

合格体験記

私はコツコツ勉強するということができない性格なため、合格するなら1年か2年以内の短期合格しかないと考えていました。

もっとも、1日に勉強するための集中力が続く限界が8時間ほどであったため、平均としては、法科大学院の授業時間も合わせて1日5時間ほどの勉強でした。

他人よりも、勉強時間が短いということはわかっていたので、とにかく勉強の質で勝負することとしました。

その内容としまして、総合講義300のテキストを使用しつつ、法科大学院の授業を聞く

ということをしていました。

講義の際に、総合講義 300 のテキストを持っていき、問題となった論点とその周辺の論点にしっかり目を通すということをしていました。

これによって、基礎基本に当たる知識をしっかり自身の中に定着させることができ、司法試験においてもっとも重要な、基本的な問題に振られている得点をしっかり拾うことができたのだと思います。

このように私はとにかく、基礎基本を大事にすることによって、合格を勝ち取りました。

令和6年度

司法試験合格

必要なものが全てそろっていた

横尾 祐月さん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

採点実感から読み解く合格答案の「型」習得講座、論文基礎力養成カリキュラム

合格体験記

アガルトアカデミーを選んだ理由

大学が提供していた司法試験対策講座が自分に合わず伸び悩んでいたところ、友人にアガルトの講座を勧められました。サンプル講座を見てみたところ、講師の説明が非常に分かりやすかったですし、テキストがカラフルで分かりやすかったため、受講を決断しました。

また、他校の講座も検討したのですが、司法試験対策講座を全て受講するとなると100万円を超えるようだったので受講費用を捻出することが困難でした。それに比べてアガルトは比較的安価であるにもかかわらず、私が受講した「論文基礎力養成カリキュラム」は法科大学院入試の対策講座として必要なものが全てそろっていました。

上記の講座の中でも特に重要問題習得講座については司法試験直前まで使用していました。答案例が掲載されているので論文答案の書き方が分かりますし、各科目であらゆる論点が網羅的に掲載されているので、試験本番でも全く分からない論点が出たということはありませんでした。

合格体験記

司法試験の過去問をとにかく研究しました。試験委員が評価する答案はどういったものなのか、どの論点がどの程度出題されているのかなどは法務省が公表している出題趣旨、採点実感を読み込むことである程度分かります。

また、合格するための戦略を立てることも重要だと思います。私は文字を書くスピードがかなり遅い方ですので、答案構成に時間をかけすぎると、時間内に書きたいことを書ききることができなくなってしまいます。途中答案になってしまうといくつかの配点項目に触れることができなくなり、相対的な評価が落ちてしまいます。そのため、ストップウォッチで2時間計って、時間内に答案を書ききるという訓練をひたすら繰り返しました。

そして、司法試験の模試を受けることも重要だと思います。中日の過ごし方であったり、

試験当日の準備の仕方であったりを事前に経験できるので、本番でのトラブルを減らすことができます。多くの受験生が模試を受けるのでその時点での自分の立ち位置が分かって、直前期のモチベーションアップにもつながると思います。

令和6年度

司法試験合格

わからないことは一旦置いて進める意識

S. Aさん (20代) 【総合 63 位】

予備試験合格

受講していた講座

予備試験1年合格カリキュラム マネージメントオプション、国際私法 / 3講座パック

司法試験 論文式試験「予想論点攻略講座」、予備試験論文式解答解説、予備試験 口述試験対策講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は高校生の頃から法曹を志しており、高校卒業後すぐに司法試験予備校を探し始めました。数校の資料を取り寄せ、テキストのサンプルや映像授業を体験しました。しかし、体験授業を受ける中で、法律の勉強が予想以上に難しく、心が折れそうになることもありました。特に、オンライン授業では一人での学習が困難に感じたため、アガルートのマネージメントオプションに大きな魅力を感じました。アガルートのマネージメントオプションでは、対面で講師の授業を受けられる点が特に良いと感じました。その場で疑問を解消できるだけでなく、答案を書く習慣が身につく、添削を通じて早期に誤りを修正できる点が非常に役立ちました。また、予備試験の勉強法が分からない私にとって、毎週課題を設定していただける仕組みは、学習の進め方を確立し、ペースを維持する上で大きな助けとなりました。さらに、アガルートのテキストはカラーで非常に見やすく、解説授業の説明も分かりやすい点が魅力的でした。

合格体験記

大学の授業と並行して、アガルートのカリキュラムに沿って勉強を進めていました。1年目は、大学の授業後に自習室でアガルートの講義を受け、課題を進めていました。マネージメントオプションの受講が終了した後は、アガルートの教材を活用しながら問題演習を繰り返しました。その際、マネージメントオプションでいただいた資料や添削内容を復習し、知識の定着に努めました。また、疑問点が出たときには総合講義のテキストを見返して解決するよう心がけていました。

特に重要問題習得講座は重点的に取り組み、多い科目では6～7周繰り返し解きました。試験前には隙間時間を活用して、「論証集の『使い方』講座」の音声聞き、論証の暗記に励みました。講義中に「わからないことは一旦置いて進めることが大切」という先生の

アドバイスを参考に、わからない部分があっても学習を止めず、進めることを意識しました。

初めは理解できないことが多く、講義を聞き流すだけになりがちでしたが、同じ内容を3～4周繰り返すうちに「こういうことだったのか」と理解が深まる場面が増えていきました。

令和6年度 司法試験合格

1 回目の受験では頭が真っ白に

高橋 丈一郎さん (20 代)

法科大学院卒業

受講していた講座

倒産法 / 重要問題習得講座

合格体験記

アガルトアカデミーを選んだ理由

選択科目として倒産法を選択していました。そして、法科大学院の授業を通じて基本的知識を習得することはできました。しかし、いざ過去問を解いてみると、その知識をどのように使えばよいのかよく分からず、採点実感が求める水準の答案を書くことができませんでした。結局、よく分からないまま1回目の受験に突入することになりました。

そして、1回目の受験にて初見の問題を見たとき、やはり今までの知識をどう使えばよいのか皆目見当もつかなくなり、頭が真っ白になってしまいました。その結果、倒産法は34点という8科目の中で最も低い評価となってしまいました。

この経験から、また、選択科目は試験当日最初に取り組む科目でその後のモチベーション維持にも重要な位置づけとなる科目であることから、倒産法の学習の見直しが喫緊の課題であると考えました。そこで、知識の使い方に焦点を当てて、予備校講座を探すことにしました。

アガルトの重要問題習得講座のサンプル講座を閲覧したところ、参考答案の内容が受験生でも再現しやすいシンプルなものであり、他校の講座と比べても値段が安いことも好印象でした。もっとも、決め手となったのは講義内容が、基本的知識が身につけていることを前提として、その使い方に焦点を当てたものだった点でした。

合格体験記

不合格直後から講座を申し込み、年内には1周していました。

講座では、石橋先生が条文の文言から考えることを何度もしつこい位に指導されており、また、問題自体も様々な角度から問う問題など多種多様な問題が収録されていました。これら講義内容やバラエティーに富む問題をこなすことによって、ようやく知識の使い方を自分なりに身につけることができました。また、講義では、問題文にメモやマークを引くことがあったので、後で裸のままの問題文を検討できるよう、あらかじめ全ての問題文を

コピーし印刷していました。

その後、年明けから、全ての収録問題を自力で参考答案と同水準の答案が書けることを目標として、周回することにしました。ただし、試験当日まで時間がないため、フルで書くことはせず答案構成レベルで記述するに留めていました。その際、前述のコピーした裸の問題文と試験用六法を用いて、各問 30 分以内を目安に構成することを心掛けました。

その結果、2 回目の試験直前には倒産法を得意科目と位置付けられるようになりました。

試験本番では相変わらずヘンテコな問題が沢山出題されましたが、条文の文言からスタートすることで落ち着いて処理することができ、最終的には 65 点という点数を得ることができました！

なお、重要問題習得講座に全幅の信頼を寄せていたので、過去問は試験直前期に 4～5 年分程度眺めただけです。

令和6年度

司法試験合格

「この人達について行こう！」と強く思った

M. Sさん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

採点実感から読み解く合格答案の「型」習得講座、マネージメントオプション、予備試験1年合格カリキュラム
知的財産法 / 3講座パック

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

受講相談での信頼感が一番の決め手でした。

司法試験の勉強を始めた当時、私は地方に住んでいたため、対面講義ではなくオンラインでの受講ができる予備校を探していました。いくつかの予備校の相談会や説明会に参加したのですが、アガルートが一番熱心に相談にのってくれました。一對一というだけでなく、実際にマネオブを担当されているプロ講師の方が担当してくださるので、講師の目線からアドバイスをいただくことができました。受講相談を受けた際に、「この人達について行こう！」と強く思ったためアガルートでの受講を決めました。

また、値段についても他の大手予備校に比べるとマネオブをつけても安かったため(私が受講した当時)、金欠大学生だった私の決め手になりました。

また、マネオブでの質問だけでなく、質問制度があったため、周りに司法試験についてわかる先輩方がいない私でも困らずに勉強ができると思ったからです。

合格体験記

論証集、重要問題習得講座だけでかなり実力がついたのですが、一番はやはりマネオブによるご指導により知識と論文力がついたと考えています。

元々マネオブをつけるパックだと少し値段がはるため、当初はマネオブをつけていませんでした。しかし、勉強を進めるにつれて知識はついているのに、論文が書けない現実に絶望しました。そこで、パックについていたお試しのマネオブ授業を受けたところ、たった数回で「最初に何を書いたらいいかわからない。どう論文を書き始めたらわからない」という疑問が解決しました。そのためすぐにマネオブを追加しました。

マネオブでは論文の書き方は勿論ですが、先生によってはソクラテスが実施され、ソク

ラテスを通して知識の理解を深めることもできました。

実は、司法試験4か月前に寝たきりになってしまい、全然勉強ができなかったのですが、論証集が小さめのサイズなので、寝たきりでも読むことができました。とにかく司法試験の勉強はとにかく辛く大変ですが、マネオプを使えば少しは楽しみながら受験勉強ができると思います！

令和6年度 司法試験合格

相談窓口での丁寧な案内で、安心して講座を購入

森田 一輝さん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

法科大学院入試過去問解析講座 / 早稲田大学、法科大学院入試過去問解析講座 / 一橋大学
予備試験1年合格カリキュラム マネージメントオプション、労働法 / 4講座パック

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は法曹を目指した時期が学部3年生と、周りに比べて遅かったので、何がなんでも法科大学院入試までにある程度実力を固めることのできる予備校を選ぶつもりでした。また、大学も高校も私立に行かせてもらったので、予備校代もできるだけ安く抑えたいという思いもありました。

アガルートの講座はオンデマンドで配信されるので、時間さえ作ればいくらかでも速く見られるし、それで見落としても簡単に見返せること、その割に合格実績もあり他校に比べて費用も安い等、私が当初望んでいた条件が全て揃っていたので、アガルートを選択しました。

正直に言えば、最初はアガルートについてそこまでよくは知らなかったのですが、受講前から受講相談で丁寧に案内をいただけたので、安心して講座を購入することができました。

また、当時は安価でマネージメントオプションを付けられる状況だったことも大きかったです。法学部にいたとはいえ、きちんと答案の書き方を学んだことはなかったので、毎週個別指導を受けられるという体制はかなり魅力的でした。

合格体験記

学習開始が遅かったこともあり、予備試験は視野に入れつつも、法科大学院に入学することを最初の目標として学習を開始しました。

学習開始から入試まで1年弱しかなかったのですが、なんとか7科目を一通り形にできるよう、基礎講座の受講から問題演習の消化まで、マネージメントオプションで先生方に学習スケジュールを管理していただきながらなんとか間に合わせることができ、第一志望で

あった一橋大学法科大学院だけでなく、併願して受けた中央と慶應の法科大学院にも合格できました。

一橋大学法科大学院に入ってから、最初は司法試験の模試のつもりで予備試験を受けることが目標だったので、それまでと同じように、マネジメントオプションで学習進捗を管理していただきながら短答の勉強をしていました。結果として予備試験の短答を突破でき、合格はできなかったものの、論文式試験を受験できたことで、司法試験の勉強をするバロメーターを作ることができました。

司法試験講座は受講していませんでしたが、過去問演習を通じて潰したい弱点が見つかった際には総合講義や重要問題習得講座に立ち戻って基礎を固め、本番は盤石な態勢を整えて臨むことができたと感じています。

令和6年度

司法試験合格

過去問学習の助走や補強としてアガルートを利用

K. Mさん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

予備試験1年合格カリキュラム、国際私法 / 3講座パック、短答式試験「重要トピック攻略講座」
司法試験 論文式試験「予想論点攻略講座」

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートを選んだのは、価格と学習環境が主な理由です。

まず、価格について、私はライトカリキュラムで受講させていただいたのですが、このカリキュラムが非常にいいものだったと感じています。まず、そもそも、このようなカリキュラムとして多くの講座が含まれているものは、どこの予備校でも相当程度の価格ではありますが、ライトカリキュラムでは、ただでさえ比較的安価なアガルートの中でも安い方です。そして、私自身、性格や時間の点からフルカリキュラムのすべてを消化することはできないと思い、必要最小限のものが含まれているライトカリキュラムであれば価格も抑え、必要な勉強を十分にできるのではないかと思えました。そのため、このライトカリキュラムがあるアガルートを選びました。

学習環境について、私が予備校の利用を選択肢に入れたのがコロナ禍が収束したとは言えない時期であり、通学するとなると二の足を踏んでしまうところ、アガルートは全てオンラインで受講することができ、そうであれば、自宅等から余分な時間を使うことなく勉強できると考え、アガルートを選びました。

合格体験記

とにかく試験においては過去問が最重要であることは紛れもない事実と思います。そのため、勉強の軸は過去問に据えながらも、その助走や補強をするためにアガルートを利用することが最適だと勉強していく中で感じました。

まず、助走として、学習初期段階において総合講義 300 や重要問題習得講座を重宝していました。私自身、本格的に法律の勉強に取り組みだしたときはいわゆる基本書や市販の演習書を用い、一人で試行錯誤しながら、どのように使えばいいか悩みながら勉強してい

ました。そこを、総合講義 300 や重要問題習得講座は、初期のインプットやアウトプットにおける方法についての悩みを減らしてくれました。この段階においては講義を聞き、問題を解くという王道の方法で勉強していました。

そして、補強としては、ロー入試や司法試験における過去問を中心に勉強するようになってから、過去問で出てきた論点の復習や、出ていない論点についての解法を身につけるように重要問題習得講座や論証集を使用していました。これらの教材によって、どのような問題に、どのような対処法で取り組んでいくべきか、という視点を持てるよう意識しながら、問題解決の流れを自分なりに理解できるようにするという方法で使用していました。そのため、自分の頭で大まかな解答の流れを考える・想起する→教材で確認・補完というような形で周回することを意識していました。また、講義音声はDLできるため、ランニングなどのような時間でも、(どういう流れだったかな)という風に考えながら論証集の講義を聴くことで同じような効果があったと思います。

このような方法で何度も教材にある論点・問題に対する解答の流れ・思考方法を養ったことで論文式試験で良い結果を得られたと思います。

令和6年度 司法試験合格

尊敬する先輩を信じて受講してとてもよかった

M. Kさん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

予備試験1年合格カリキュラム

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

理由は2つあります。1つ目は、尊敬する先輩に勧められたからです。私は大学2年生になる直前に本格的に司法試験の勉強をはじめる決意を固め、司法試験対策の予備校を探し始めました。大学では法曹志望が集まるサークルに所属しており、1つから2つ上の学年の、既に1年以上司法試験対策の勉強をしている先輩が複数人いました。その先輩方に司法試験対策の予備校のおすすめを聞いたところ、何人もの先輩からアガルートアカデミーがとてもわかりやすいと勧められたため選びました。私が受講をはじめた2020年はいまほどアガルートアカデミーのCM等が盛んではなかったので、アガルートアカデミーの名前を聞いたのは先輩からのアドバイスがはじめてだったのですが、尊敬する先輩を信じて受講を決断してとてもよかったと思っています。2つ目は、講座の費用が安価だったからです。私は予備校の代金は自分の力で捻出すると両親と約束しており、大学1年の5月から大学2年生に上がるまでの間アルバイトで60万円ほどを稼いでいました。アガルートアカデミーの講座はそのときある主要な予備校の中ではかなり安価で、アルバイト代からの捻出が可能であったため選びました。

合格体験記

司法試験までの間の問題演習は、アガルートアカデミーの重要問題習得講座と司法試験過去問だけを行いました。私は予備試験を受験していなかったので、まずはロー入試の合格を目標に掲げ、ロー入試までの間に重要問題習得講座を7科目、それぞれ5周ほど回したと思います。その過程で7科目の基礎ができ、受験したロースクールすべてで合格することができました。そしてロースクール入学後にはじめて司法試験の過去問を解いた際にも、基礎が仕上がっていたため、難しくはあるものの手は動くレベルに達することができました。ロースクール入学後は司法試験の過去問演習がメインでしたが、苦手な分野につ

いては重要問題習得講座に戻るなど、基礎を大切にすることを意識していました。また、司法試験の過去問を解く過程で得た知識はすべてアガルートアカデミーの論証集に一元化していました。本番はアガルートアカデミーの論証集だけを会場に持ち込み、お守りがわりにしていました。知識を論証集に一元化していたおかげで、本番前に効率よく復習をすることができ、落ち着いて試験に臨むことができました。

令和6年度

司法試験合格

法律の名前も知らなかった私が約2年半で合格

R. Tさん (30代)

法科大学院卒業

受講していた講座

司法試験 論文過去問解析講座、採点実感から読み解く合格答案の「型」習得講座 / 基礎編 + 実践編パック
法科大学院入試過去問解析講座 / 名古屋大学 (一次)、予備試験1年合格カリキュラム マネージメントオプション
労働法 / 4講座パック

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

主な理由は2つあって、元々他資格の講座を受講してアガルートが自分に合っていると思っていたから、マネージメントオプションがあったからです。

司法試験対策を受講する前に、行政書士講座を利用していました。テキストがカラーで読みやすく、講義も収録されたものをオンラインで視聴する形式で1コマあたりの時間も短く、仕事をしながらでも自分のペースで何回も復習しながら学習できて短期で合格できたので、アガルートの教材・学習形態が自分に合っていると思ったからです。

また、私は非法学部出身のため法律を体系的に学んだことがなく、法科大学院に入学する前は仕事もしていたため時間も限られており、司法試験対策の膨大な講義の量と難解な内容に途中で挫折するリスクがありました。講座を購入したら、そのあとは自力で進めるのみというような他社の方式では講座を使いこなすことができず、論文の書き方も習得できずに我流でピントのずれた勉強になってしまうと危惧したので、週1で進捗管理・相談・論文添削が受けられるマネージメントオプションが付いたアガルートが魅力的に感じました。

合格体験記

試験科目となる法律の名前も知らなかった非法学部の私が学習歴約2年半で司法試験に合格できたのは、アガルートを選択したからだと思っています。

そもそも非法学部出身で法律論文を書いたことのない私は、講座を一度見るだけでは全く理解できず、「こんなんで8科目も論文を書けるようになるのだろうか…」ととても不安な気持ちでいっぱいになりました。しかし、マネオブ毎週いろんな先生と進捗管理・

相談していくうちに、学習の方向性を軌道修正していただき、論文の書き方についても、論文を人生で初めて書いたという段階から添削指導していただいたので、変なクセが付かなかったことが、1回目の在学中受験で短期合格できた勝因だと思います。

とにかく短期で司法試験に合格したかったので、在学中受験が開始するという情報を耳にして、法科大学院に入学しようと思いました。学習を始めて約10か月後に既習コースの法科大学院入試を受けて、合格することができました。そもそも法律の名前も知らなかった状況から1年もかからずに既習コースに合格できたのは、毎週論文を書いて添削していただくというマネオプのカリキュラムに乗って学習することができたからだと思っています。

法科大学院に入ってから、ローの授業の予習復習に追われていましたが、1年生の夏、冬という長期休暇を利用して少しずつ過去問を見始めて、受験する年の4月～7月には司法試験の過去問講座を購入し、時間を計って検討→解説講義の視聴を繰り返しました。

当初目標にしていた2023年の予備試験は、法科大学院の学習に追われて受験できませんでしたが、結果として在学中の資格で2024年の司法試験を受けて合格することができたので、2022年に学習を開始した私にとっては、最短で司法試験に合格することができて大満足です！

令和6年度

司法試験合格

手で書いて声も出し、体の様々な器官を用いて暗記

K. Kさん (20代) 【総合62位】

法科大学院卒業

受講していた講座

旧司法試験 論文過去問解析講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

地方の法科大学院に通っていたため、教室に通うことは難しいと感じていた。そのため、受講するにあたって地理的制約を受けることがない予備校でなければ、学習することが難しいと思い、オンラインの講義を提供してくれる予備校を探していた。

アガルートアカデミーの講義を受講する前、私は他のオンラインの予備校を受講していた。しかし、アガルートでは、さまざまな用途に従った講義が提供されており、かつ、その講義ごとに購入をすることができるため、自分の学習状況に応じて必要なだけの講義を受講することができると思い、アガルートでの学習を決断した。

私が受講したのは、旧司法試験の論文過去問解析講座である。旧司法試験は、現行の司法試験とは出題形式が異なる部分も多いが、現行試験に出題される可能性のある内容が含まれていることから、学習の必要性を感じていた。しかし、旧司法試験の解説を行っている書籍等は少ないという現状があった。そのため、当講座を受講することを決めた。

合格体験記

私は、法学部の出身ではないが、学部生時代から予備試験合格を目指して学習をしていたため、答案の書き方や論証の作り方には、多少の心得があった。他方、基礎的な法律知識という意味では、他の学生と比べて大きく劣っていたと思われる。そのため、法科大学院入学後は、旧司法試験や予備試験の過去問を検討する際、過去問解析講座の資料や授業のレジュメ、基本書の記述を参考にしながら復習を進め、周辺知識を獲得することに努めた。例えば、旧司法試験論文過去問解析講座の解説部分で紹介されている判例があれば、その判例を基本書等の索引から調べ、その判例が紹介されている前後の章を確認するよう心がけた。

また、論証集は、自分の言葉に変更するという作業を行った。アガルートの論証集等を

参考にしつつも自らが答案に書く際によく使うフレーズや書き方に表現を変え、そのまま、答案に記述できるように記憶した。また、論証を暗記する際には、手で書いて覚えるという作業に時間を割くことで、手が暗記するように心がけた。自宅で暗記作業を行う際には、声も出すことで、体の様々な器官を用いて暗記した。さらに、私は、短期記憶には自信があるが、長期記憶には自信がなかった。司法試験の学習は長期記憶が必要となるため、反復して暗記作業を行うことで短期記憶を延長させることに努めた。

このように自分の強みと弱点を理解し、それをもとに自らに合った学習を行ったことが合格に繋がったのではないかと考えている。

令和6年度 司法試験合格

素晴らしい合格実績を残している理由が わかった

Y. Sさん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

重要問題習得講座

合格体験記

アガルトアカデミーを選んだ理由

アガルトアカデミーは合格実績がよく、テキストがわかりやすいため利用しました。テキストはカラーでとても見やすく、内容も大変わかりやすかったため、勉強しやすいと感じました。オンラインで学習できる点も魅力に感じました。

重要問題習得講座は、問題が充実しており、網羅性が非常に高いため、法科大学院から司法試験本番まで、ずっと演習し続けられるものだと思います、受講しました。アガルトアカデミーは、市販の論証集なども非常に質が高く、このような参考書を販売している予備校はきっと講座の質も高いに違いない、と思い受講を決めました。実際に受講してみて、非常に素晴らしい合格実績を残している理由がわかりました。

また、アガルトアカデミーの講師の方々は、SNSを積極的に活用して情報発信しており、その情報が大変有益だったことも理由の一つです。司法試験に合格するためのノウハウがあることがSNSから伝わってきたので、安心して受講することができました。

合格体験記

私は学習開始後、1年数か月は独学でやっていましたが、どこが大切なのかなかなか把握できず、効率が悪い勉強になっていたと思います。そんなときにアガルトアカデミーのSNSを見て、この講座を受講すれば、効率よく各科目の重要問題を検討することができるのではないか、と思いました。実際に、期待した通りの学習効果を得ることができました。

私は、演習書を何回も何回も解く、というスタイルで勉強していました。重要問題習得講座の問題を解き、スマホで講義を視聴するというのを何度も繰り返しました。具体的には、大学4年生のはじめ頃に1周目を解き始めて、司法試験に在学中合格するまでに、4～5周は周回したと思います。アガルトアカデミーのテキストは、カラーで見やすく、

内容も大変わかりやすいので、ストレスなく何周も演習することができました。

重要問題習得講座で学んだ知識や理解は、過去問演習をはじめても十分通用するものだと感じました。過去問でわからない問題があったときは、重要問題習得講座の類似問題を解き直してみたりしました。

令和6年度 司法試験合格

難解な法律知識を平易に解説してくれる

田牧 健吾さん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

重要問題習得講座、採点実感から読み解く合格答案の「型」習得講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートを選んだ理由は、主として以下の3つです。

まずアガルート教材の評判が非常に良かったからです。多くの先輩や同じ目標を持つ仲間たちから、「教材がわかりやすく、効率的に学べる」と聞き、信頼を寄せていました。

次に、アガルートの重要問題習得講座では、問題演習を中心に知識をブラッシュアップするスタイルが採用されており、このアプローチが自分の学習方法に非常にマッチしていると感じました。理論的な理解を深めるだけでなく、実践的な問題解決能力も養える点が、私にとって大きな魅力でした。

最後に、講師の解説が分かりやすく、難解な法律知識を平易に説明してくれるからです。私が利用したことのある講座では、工藤北斗先生と元ぎやるおこと石橋侑大先生が解説の担当でしたが、論理的な説明をなすため、自身で基本書等を読むときと比較して、法律への理解が極めて促進されました。また、解説講義があることは問題演習をする上でのモチベーションとなるため、その点でもアガルート教材を利用して良かったと考えています。

以上が私がアガルートを選んだ理由です。

合格体験記

私は、司法試験合格を果たすため、アガルートの教材を学習のペースメーカーとして取り入れることを意識しました。

特に、利用したテキストを3回程度、復習することを自分の学習スタイルとして確立しました。最初は法律知識の理解を深めることに努め、次に当該知識を定着させるために、必ず解説や答案例を繰り返し読んで内容を記憶しました。最終的には、司法試験の過去問を解きながら学んだ内容を実践的に活用することに努めました。

また、隙間時間を有効活用することも心掛けました。通勤中や休憩中などの空いている時間にスマホを使って、解説講義を聞くようにしていました。これにより、移動時間も無

駄にせず、隙間時間を積み重ねて学習のボリュームを増やすことができました。

アガルート教材は、司法試験の合格にあたり、重要な役割を果たしたと考えています。教材は無駄なく効率的に必要な知識を提供してくれるため、計画的に学習を進めることができました。特に、試験直前期には、司法試験模試を受けることで実戦感覚を養うとともに自分の弱点を明確にすることで短期間で知識のブラッシュアップに努めました。

アガルート教材の使用は、自分のペースで学習を進める上で非常に大きな貢献をしたと考えています。友人と共にゼミ等を組んで勉強する場合、ペースや進度が合わないことがストレスになることがあります。アガルート教材の利用は独学に近い形で自分のペースで学習できる点が非常に魅力的でした。特に、細かい進捗管理や復習のスケジュールを自分で設定できるため、集中して学習に取り組むことができました。自分のペースで進めることで、効率的に理解を深めることができ、無理なく合格に繋がったと感じています。

司法試験合格のためには、計画的な学習とペース配分が重要だと考えています。悩んでいる方には、アガルート教材を使用して、他人と比較することなく自分のペースで着実にステップアップすることをお勧めします。

令和6年度 司法試験合格

普段から時間制限を意識することが重要

T. Yさん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

重要問題習得講座、論証集の「使い方」、経済法 / 3講座パック、総合講義 100

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

他の予備校を利用していたのですが、ロースクールの授業を受けたり、基本書を読み込むにつれて、テキストの内容の正確性に疑問を抱いたことから、その予備校の利用をやめようと思いました。

そこで新たな予備校探しを始めて、講座が短時間で1周でき、繰り返し聞けそうだったこと、金銭的負担もそれほどでなかったこと、インターネット上での評判が良かったことからアガルートを選びました。

特にオンライン上で完結することと、金銭的負担が他の予備校と比較して軽かったことが主な理由となります。

自分がアガルートを利用してよかったと思った点は、テキストがきれいで見やすいこと、過去問で出題された論点についてはその旨の記載があることです。

とくに後者は他の予備校を使っていた時は自らで書き込む必要があり面倒であったため、便利でした。

司法試験における過去問の重要性に鑑みると、総合講義や論証集に対応する過去問の年数を記載することは必要だと思います。

合格体験記

試験直前（6月まで）はひたすら過去問演習をしていました。

特に公法系、刑事訴訟法は過去問の傾向を掴むことが非常に重要だと思うので、できる限り、全年度分目を通した方が良いと思います。

民事系も5～6年度分は起案しました。

起案するときはページごとに時間を計って自分のペースを把握することが重要だと思います。

試験本番の時に自分が通常より遅れているかどうか分かり、自分を客観視できるよう

になるからです。

周囲の話を聞くと試験本番に時間が足りなくてパニックになった人がそれなりにいたので、普段から時間制限を意識することは非常に重要です。

以上のように、ある程度まとまった時間があるときは過去問演習を行い、隙間時間には短答、アガルトの重要問題、論証集を見返していました。

音声をダウンロードしてしまえば、通学時間にタブレット片手で復習できるのが便利でした。

試験直前（6月以降）には短答、重要問題、論証集、過去問の復習をメインとして、今までやってきたことをいかに試験で発揮できるかを目標としていました。

令和6年度 司法試験合格

「重要問題習得講座」が素晴らしい

三浦 綾介さん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

個人別マネジメントオプション、法律実務基礎科目対策講座、重要問題習得講座、論証集の「使い方」
法科大学院入試過去問解析講座 / 東北大学（後期）、短答式試験「重要トピック攻略講座」
司法試験 論文式試験「予想論点攻略講座」

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

まず、重要問題習得講座という講座が素晴らしく、これを受講するためにアガルートを選びました。重要問題習得講座のいいところは、各科目の重要な論点を含む問題が網羅的に収録されており、これに対してコンパクトな解説と答案例が付属しているところです。司法試験においては、各論点の深い理解があることも重要ですが、その論点や概念を全く知らないということをなくす方がより重要であると考えます。この点で、重要問題習得講座は各科目について、重要な論点についてはおおよそ押さえられており、重要問題習得講座に載ってない論点は現場で考えればいいという線引きができることが何よりいいと思います。また、解説、解答例も基本的に判例に準拠した説を採用しており、本試験で使いやすい内容となっています。また、論証集との互換性も高く、この点でも使いやすいものとなっていますし、巻末の論点マップは、本試験直前に、論点名をパッと見て何が問題の所在か、どんな内容だったかを瞬時に答えられるようにするのに大変重宝しました。さらに、これらの講座が、比較的安価に受けられるのもアガルートを選んだ理由です。

合格体験記

本試験は大きく短答と論文に分かれますが、短答に関しては、愚直に過去問を解いて、その答えを理解、暗記することに努めるほかないと思います。この際、ただ闇雲に過去問を解いていても、あまり力になりにくいと思うので、特に刑法などは、論文で出題されたらどう答えるかななどを考えながら解くことで、理解も深まりますし、論文の力もつくと思います。一方、論文に関しては、論点抽出と規範の貼り付け、あてはめをバランスよく鍛える必要があります。そして、論点を抽出するためには、どのような場合に、どのような論点が生じるのか、その論点の結論はどうなるかを、重要問題習得講座などの短文事例問題で学んどうえて、実際に過去問を解く必要があると思います。また、規範もただ暗記す

るのではなく、その規範を書く意味やどうしてそのような結論になるのかを理解することが必要だと考えます。あてはめは、合格者の答案例などから、いいと思った表現をストックすることに努めました。

令和6年度

司法試験合格

前提知識もなく相談できる人もいない状態での挑戦

T. Hさん (20代)

予備試験合格

受講していた講座

短答過去問解説講座Ⅰ、予備試験1年合格カリキュラム/マネージメントオプション、司法試験答練
司法試験 論文過去問解析講座、短答過去問解析講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は、非法学部出身であり法律についての前提知識もなく相談できる友人や先輩もいない状態で司法試験に挑戦することを決めました。そのため、学習を始めるにあたって講師や学友に相談しやすい環境で勉強をしたいと考えておりました。その観点においては、アガルートアカデミーは講師との距離が近く、法律の内容面だけでなく、学習方法やメンタル的な部分についても相談しやすい環境であったためアガルートアカデミーでの学習を選択いたしました。また、アガルートアカデミーは他社よりもオンラインでの学習のしやすさが高い点も魅力的に感じ選択するきっかけとなりました。具体的には、ホームページの見やすさに加えて、受講履歴や講義の音声データがダウンロードできる点が挙げられます。また、講義の時間も他社と比べてコンパクトに収まっており初学者が始めやすいものとなっていると考えました。実際、基礎講座は短く済ませ、その後の問題演習や復習に多くの時間を割くことができることは大きなメリットであったと実感しております。

合格体験記

私は、法科大学院に行かずに予備試験専業で司法試験を目指す道を選びました。そのため、学習の最初の段階から短答式試験にも時間を割いて勉強しておりました。何故なら、予備試験は短答式試験で司法試験よりも多い、8科目を受験しなければならず、かつそのボーダーも非常に高いからです。そのため、予備試験では短答式試験をまずは突破できることが大前提であると教わったためです。具体的には総合講義300を毎日受講し、受講し終わった範囲についてはすぐに短答式試験の過去問を5～10問ほど解くという学習を最初の8か月ほどしておりました。そして、総合講義300が一通り終わった段階から、短答式試験と並行して論文式試験の対策を始めました。その内容としては、まずは重要問題習

得講座を解き、聞き終わったインプットの復習に加えてその知識を深める作業を行いました。その次に、予備試験の論文式試験の実際の過去問を使って演習をしました。最初は全くうまく書けなくとも、自分の書いた答案と合格答案や参考答案を見比べて何を直すべきか、自分の答案の癖を知ることにより段々合格水準に達する答案を自ら書けるようになりました。

予備試験合格後は大きく勉強方針は変えず、司法試験の過去問を使って同様に学習をしていました。

令和6年度

司法試験合格

アウトプットと同時にインプットできる 一石二鳥の教材

Y. Mさん (20代)

予備試験合格

受講していた講座

重要問題習得講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

以前から重要問題習得講座の評判が高く、興味があった。予備試験合格後、自分自身、判例の知識に自信がなく、また、客観的にみても、アガルートアカデミーの受験生シェア率は高く、仮に重要問題習得講座に載っていて、自分が知らない問題が司法試験に出た場合に、不利になる可能性が高いと考えた。

そこで、予備試験合格後、司法試験までの間に、基本的知識の確認と、知識の抜けを少しでも埋めるべく、アガルートアカデミーの重要問題習得講座を受講した。

アガルートアカデミーの重要問題習得講座では、単に解答例が載っているのみならず、その問題を解くための判例について、簡潔な解説がついており、アウトプットの講座ながら、同時にインプットもできるという一石二鳥の教材であり、近年は誇大広告で中身のない教材が散見される中でも、多くの人がSNSやブログで勧めるだけの中身を伴う優れた教材であると感じた。

また、教材の発送や受講もスムーズであった。

合格体験記

司法試験・予備試験の難しさは、個々の法律論の難しさにあるというよりも、民法・会社法・民事訴訟法、憲法・行政法、刑法・刑事訴訟法、選択科目、実務基礎科目、そして、各科目の短答の過去問に一通り目を通し、どこの分野が出たとしても、一応の解答を出せる水準まで勉強しなければならないことにあると考える。

これらの科目は、たとえ各科目数冊に基本書を絞ったとしても、小さい本棚が埋まってしまうほどの量になる。教科書の一行に満たない内容であっても、何冊もの浩瀚な専門書があり、手を広げようとするれば、無限に広がる恐れがある。

そこで重要なことが、予備校という、過去問を研究し尽くしたプロの手を借りて、やる

べき分野を絞り、重要度に応じて、力の入れ方をコントロールすることにあると考えた。

数ある司法・予備試験関連の予備校の中でも、アガルートアカデミーは、後発ながら近年、業界トップレベルの高い実績を誇り、信頼性が高かった。合格のためには、アガルートアカデミーのようなプロに頼ることが鍵となると感じた。

令和6年度

司法試験合格

直感的に理解できる教材が学習効率を格段に上げた

R. Oさん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

予備試験論文式解答解説、総合講義 100、重要問題習得講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートアカデミーを選んだ理由はいくつかありますが、最も大きな要因は信頼性と実践的な学びの提供にあります。まず、先輩がアガルートを勧めていたことがきっかけです。その先輩は以前、同じ試験を目指して学習し、アガルートを利用した結果、短期間のうちに見事に合格を果たしました。勉強方法やカリキュラムの質について非常に高く評価しており、「効率的に学べる」という言葉がとても印象的でした。

また、テキストの見やすさも大きなポイントでした。アガルートの教材は、図解や表が豊富で、重要なポイントが直感的に理解できるように工夫されています。試験対策の勉強では限られた時間を有効活用する必要がありますが、このような視覚的にわかりやすい教材は、学習の効率を格段に上げてくれます。

さらに、他校と比較した際に、他校は学説や解説内容が古いと感じたこともアガルートを選んだ理由の一つです。アガルートは常に最新の情報を反映しており、試験の傾向や時代に即した内容を学ぶことができます。これにより、試験対策としての確な知識を身につけることが可能になります。

これらの理由から、効率的かつ効果的な学習を進めることができると確信したため、アガルートアカデミーを選びました。

合格体験記

私が司法試験に合格するために実践した学習方法についてお話しします。まず、アガルートの「重要問題習得講座」を活用しました。この講座は、司法試験において頻出される重要な論点を効率よく学ぶために設計されており、解説が非常に分かりやすく、基礎から応用までを体系的に理解することができました。

また、アガルートの論証集も非常に重宝しました。この論証集は、重要な論点について

簡潔かつ的確にまとめられており、答案作成時に必要な論理構成をスムーズに思い出すことができるようになります。試験直前期には、この論証集を繰り返し読み込むことで、記憶を定着させるとともに、即座に論点を思い出す訓練をしました。

さらに、司法試験の過去問を徹底的に繰り返しました。過去問演習を通じて、自分の弱点を発見し、重点的に補強することで、本番に向けた自信を積み重ねていきました。特に、過去問を解いた後には必ず解説を参照し、どこが間違っていたのか、どうすればより良い答案を書けるのかを分析しました。

加えて、得意科目については基本書を活用しました。例えば商法では、より深い理解が必要な場面が多かったため、田中亘『会社法』などの基本書を併用して知識を補強し、論理の裏付けを強化しました。

これらの学習方法を組み合わせることで、効率的に知識を習得し、司法試験合格への道を切り開くことができました。

令和6年度 司法試験合格

想像よりもクオリティーが高くびっくりした

D. Iさん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

総合講義 100、商法（総則・商行為）重点攻略講座、短答式試験「重要トピック攻略講座」

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

予備校の利用に興味を持ったのは、LS入試に向けて本格的に勉強に取り組もうと考えたとき、まだまともに手を付けたことがない科目があることに危機感を感じ、予備校を利用して早めに1周しようと思ったのがきっかけでした。アガルートアカデミーを選んだ理由は、友人から話を聞いたところ、講義・テキストに無駄がなく、クオリティーが高い、また科目単位で自分に必要と思う講座を選択でき、費用的にも手を付けやすいと感じたことです。

実際に利用してみて、想像よりもテキストのクオリティーが高く、情報量はコンパクトながらかなり踏み込んだ内容まで簡潔にまとめられていることにびっくりしました。合格した今見ても、他の予備校の論証集やテキストに比べ、不自然に思う記述はほとんどなく、一通りの見解が示されてはいつつも、判例をベースにした採るべき説がきちんと示されており、学習に困りませんでした。

テキストには余白もあったため学習が進んでくると、テキストにより細かい裁判例や最新判例を貼りつけ、知識を一元化しました。

合格体験記

いかに理解していても、それを限られた時間内で適切に表現できないと試験は突破できません。従って、早い段階でアウトプットの練習をした方がよいのですが、こう聞くと、起案するにはまずある程度インプットが完了していないとダメじゃないかと思うかもしれません。しかし自分の場合、そんなことを言っていたらいつまで経っても起案に進めなくなるのが目に見えていました。そこで、まだ学習があまり進んでいなかった4回生春から、友人たちと予備試験や司法試験の過去問を解き、答案構成や実際の起案をするゼミを組みました。最初は何も見ずに考え（白紙で終わることも多かったですが）、その後基本書や

テキストをみながら、なんとか一定の形にするという作業を繰り返したことで、現状と到達点との距離を確認することができ、モチベーションも上がりました。今思えば、ここで一度答案作成の経験を積んだことが、後の学習の吸収力を上げることに繋がったと思います。

自分は暗記が得意な方ではなかったので、インプットの際には、判例の文言を単独で覚えるのではなく、なぜそのような文言になっているのか、他の事案における文言との違い（総合講義や判例解説から仕入れました）を意識し、セットで覚えることを意識していました。

令和6年度

司法試験合格

典型論点を見抜き、素早く処理することが最も重要

R. Nさん (20代)

予備試験合格

受講していた講座

予備試験論文式試験「予想論点攻略講座」、重要問題習得講座、論文答案の「書き方」、予備試験 口述試験対策講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は、司法試験・法曹という進路を漠然と考え始めた頃から、試験の論述問題に対応するための正確な法律知識・答案作成技術を身につけるためには、予備校に通う必要があると考えようになりました。特に、司法試験・予備試験の過去問自体は誰でも入手できますが、本番では過去に出題されたことのない論点も当然多く出題されるため、網羅性ある教材で学習することが不可欠であろうと考え、その意味でも何らかの予備校講座は必要であると考えました。ただし、私は貯金がそれほど多くなかったため、予備校にそこまで多くの金額を払うことはできない経済状況でした。また、私としては通学に時間をかけずに自宅で受講することができる講座が好ましいと考えておりました。アガルートアカデミーは、価格が一般的な司法試験予備校の相場に比べると安く、また大半のカリキュラムがオンラインで設定されているため、通学に時間を要さず学びを進めることができます。こうした理由からアガルートアカデミーが最適であると考えに至りました。

合格体験記

私は、司法試験合格に最も重要なことは、長い問題文の中から典型論点を見抜き、素早く処理することだと思います。司法試験は相対評価で合格が決まるところ、過去の合格者の再現答案を分析すれば、最新の裁判例や特殊な学説といった発展的知識が占める分量は少なく、むしろあらゆる基本書で説明されているような典型論点に適切に言及できているか否かで合格が分かれていることに気づくと思います。ただし、試験本番にこうした基本的知識を発揮するためには、長い問題文を読み解いて問題点に気づき、必要な事情を抽出する力、論点の正確な理解を文章として短時間で表現する力が不可欠だと思います。これらの力を育むためには、短い基本的な事例問題を実際に解き、答案を作成することで育つと考えます。私は、重要問題習得講座を始め、典型論点の短い事例問題を何度も解き、そ

の都度答案を作成するようにしていました。これにより、基本的論点を効率的に復習できるだけでなく、一連の答案作成作業に早期に慣れることができました。

令和6年度 司法試験合格

少しずつ知識が増えていくのを実感

片岡 紀章さん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

法律実務基礎科目対策講座、法科大学院入試専願カリキュラム / 関西圏

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

まず、SNSやブログなどを読んで情報収集をしていた際、重要問題習得講座の評判が特に良かったことです。合格者のブログなどで、重要問題習得講座を何周もやったからこそ合格できた、などの声を聞いていたため、興味を持ちました。

また、首都圏や大阪などに住んでいたわけではなかったため、地方から受講できて、かつ、講座音声ダウンロードできて、自分のペースで学習できるオンラインの受講スタイルにも惹かれました。

加えて、私は法科大学院の受験を検討していたのですが、法科大学院入試の再現答案や解説などは、司法試験・司法試験予備試験と比べて、ネットで調べてもほぼ出てくるものではなく、解答例や講座を入手する必要があると感じました。アガルートアカデミーには法科大学院受験用のカリキュラムがあったことから、他の講座と合わせて法科大学院講座をお得に手に入れられるということが決め手となり、アガルートアカデミーで勉強しようと思いました。

合格体験記

学習初期は、講師の先生の言葉に従い、とにかく総合講義300を1周することを目指しました。もちろん初めは理解できない事項も多かったのですが、2周目の講義を受け、論文の問題を解いていく中で少しずつ自分の知識が増えていくのを実感しました。大学3年の5月から受講を始めて、結局行政法の総合講義300を聞きわったのは翌年の3月でした。

並行して重要問題習得講座を解き進めたのですが、最初は何を書いたらいいのかなど全くわからなかったため、とにかく解答例の分析をして、どのような場合にどのような流れで書いていくのかを学び、答案の書き方を身につけていきました。また、論証を頭に入れるために、寝る前には論証集の「使い方」講座を毎日聞いていました。4年になってからは受験する法科大学院の過去問を解き続け、京阪神の法科大学院全てに合格しました。法

科大学院に入学してからは、友人と司法試験の過去問を解き続け、授業を受け、適宜論証集に気づきや学びを一元化していきました。定期試験の前には重要問題習得講座を解き直し、基礎を再度確認しました。直前期は情報を一元化した論証集のみを読んで、暗記の精度を高めていきました。

令和6年度 司法試験合格

勉強の開始が遅かったが法科大学院在学中に合格できた

S. Kさん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

予備試験1年合格カリキュラム、知的財産法 / 3講座パック

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は、法学部に在籍していたものの、法律の勉強を全く行っていなかったため、基礎的な知識から実際の答案の書き方まで一貫して学べる予備校を探していました。法律の学習は専門的であり、しっかりとした基礎が必要だと感じていました。その中でもアガルートアカデミーに注目しました。アガルートアカデミーは、講座の価格が比較的安価でありながら、実績も豊富で信頼できる予備校だと友人から教えていただきました。また、多くの受講生が合格を果たしている実績があり、カリキュラムも充実しているため、安心して学ぶことができると考えました。基礎から応用までしっかりと学べる環境が整っていることが、私にとって大きな魅力でした。さらに、アガルートアカデミーは、論文問題対策だけでなく短答問題対策の講座もセットになっているため、アガルートアカデミーの講座内容をマスターすれば司法試験に確実に合格できると考えたため、他の予備校ではなくアガルートアカデミーを選択しました。

合格体験記

私は、法律の勉強を開始した時期が大学4年生の7月と周りの受験生に比べて遅く、未修コースに入学しました。そのため、周囲の方々より多くの学習時間を確保するだけでなく、より効率的に学習する必要があると考えました。そこで、毎日欠かすことなく朝7時30分には学習を開始しておりました。周囲の受験生も司法試験合格に向けて勉強しているので、差を埋め、追いつくためには朝の時間を有効活用する必要があると考えたためです。また、同様の理由で、夜は用事がある日を除き22時までは学習していました。さらに効率性の観点では、比較的学習量が成績評価に反映されやすいとされる下4法、特に受験生が苦手とする民事訴訟法、刑事訴訟法を重点的に学習しました。一方で、自分自身が苦手としコストパフォーマンスが悪いと感じた憲法に関しては、必要最低限の学習のみを

行いました。さらに、司法試験の出題形式に慣れるために、司法試験の過去問を直近 15 年分の答案構成を行い、最直近 5 年分に関しては時間を計った上で起案を行いました。この作業を各科目 2 周ずつ行いました。以上を行った結果、未修コースながら法科大学院在学中に司法試験に合格することができました。

令和6年度

司法試験合格

紙のテキストは手を動かしたい自分には助かった

Y. Nさん (30代)

法科大学院卒業

受講していた講座

短答過去問解説講座Ⅰ、短答知識完成講座Ⅰ、基礎演習民事訴訟法解析講座、倒産法 / 総合講義

刑法事例演習教材解析講座、知的財産法 論証集の「使い方」、知的財産法 過去問解析講座、知的財産法 総合講義

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

安価であるにもかかわらず質の高い講座を受けることができると思ったからです。司法試験は一時期と比べると予備校の熱量が下がってきており講座の値段が上がっているにもかかわらず内容の質が下がっているといわれてきました。その中でオンライン講座をいち早く導入しCM等も流すなど景気がよさそうだったのでアガルートを選びました。

アガルートの講座を受けてみて特に良いと思った点は2点です。まず、申し込んだ日から視聴することができたことです。得意な分野は倍速で、苦手な分野は繰り返し聞くなど自分の理解度に合わせて聞くことができます。次に、後日テキストが紙で送られてくることです。デジタルで勉強をされる方には関係がないかもしれませんが講座を聞きながら手を動かしたいと思うことが多く紙でテキストをいただけるのは経済面でも非常に助かりました。もちろんデメリットもあります。オンラインであるため視聴期限があること。自分で計画を立てないと最後まで貫徹できない可能性があることです。音声のみはダウンロードも可能ですが動画は保存できません。苦手な分野など気を抜くと聞き流してしまっているということもあり聞くだけで勉強した気になってしまうので心配な人はオプション等を使ってしっかり指導を受けることも考えるべきかもしれません。

合格体験記

もう何年も司法試験の勉強をしてきたので、実際にどの勉強が実を結んだのかはわかりません。しかしながら、実際に書いた答案と評価について友人たちと検討をしたところ論点を捉えられなかった科目についてはD以下の評価がついていると思います。本年の刑訴のように設問が短く論点が明らかな問題に関しては、受験生のレベルが高く論証を完璧に書くことは当然ながら趣旨や事実の拾い上げ、評価の仕方等分量を書かないとA評価がも

らえないと思います。この分析を踏まえると、今回の試験のために去年の11月ごろから週3回友人達と即時起案をしてきたことが良かったと思いました。2時間で論証が正確に書ききれるか事実をどう評価するかを自分で確認すると同時に、起案を読み合い意味の通じないところ等できているつもりの部分につき意味が通じるようになるまで皆で再考しました。本年の商法等現場思考の問題については即日起案をしていたおかげで自分の設定していた構成時間の中で書く方針について早期に決断することができました。試験時間が2時間しかないこと、自分の書くスピードと書きたい分量を計算して構成にかけられる時間を知っておくことは重要です。その上で、初見の問題で構成時間が20分前後しかないことを意識して勉強をすることが合格につながると思います。

令和6年度

司法試験合格

教材の内容が非常に洗練されている

Y. Hさん (30代)

法科大学院卒業

受講していた講座

知的財産法 / 論証集の「使い方」、知的財産法 / 司法論文過去問解析講座、知的財産法 / 総合講義
法律実務基礎科目対策講座、採点実感から読み解く合格答案の「型」習得講座 / 基礎編
法科大学院入試過去問解析講座 / 東京大学、短答知識完成講座Ⅰ、総合講義 100、論証集の「使い方」
重要問題習得講座、司法試験 論文式試験「予想論点攻略講座」、予備試験論文式解答解説

合格体験記

アガルトアカデミーを選んだ理由

まず、アガルトを選んだ最大の理由は、各講座の意味や目的が明確に示されている点でした。受講者は自分が何を学ぶべきか、どのような知識を習得できるのかが具体的に理解でき、この明確な目標設定のおかげで、学習の方向性が定まり、効率的な勉強が可能となりました。また、各講座間のつながりも明確で、体系的な学習を進めることができました。

次に、教材の内容が非常に洗練されていることも理由の一つです。ただ情報を詰め込むのではなく、本当に必要な内容を厳選していることが伝わってきます。「必要にして十分」という言葉がぴったりと当てはまり、無駄のない学習を実現できました。特に、重要な論点については詳細な解説がなされている一方で、優先度の低い内容は適切に省略されており、メリハリの効いた構成となっています。

さらに、教材の見やすさの点も挙げられます。重要なポイントは太字やカラーで強調され、図表も効果的に用いられており、視覚的な学習効果も高いと感じました。また、わざわざ講師の言ったところをマークする必要もないので、実際に講義にしっかり集中することができて無駄がなかったです。

このように、明確な学習目標と厳選された教材内容、わかりやすいテキストという特徴が、私の学習スタイルに完璧にマッチし、アガルトを選択して本当に良かったと実感しています。

合格体験記

司法試験合格において重視したのは体系的な理解とそれを答案に表現する能力を身につけることでした。

インプット学習において「総合講義 100」と「論証集」という2つの教材を効果的に組み合わせることに注力しました。両教材を横断的に復習することで知識の関連付けを強化し、間違いやすいポイントを論証集に書き込んで整理していきました。特に、あてはめのコツを随時メモしていくことで、実践的な応用力を養うことができました。

アウトプット学習では「重要問題習得講座」を使いました。この講座は司法試験の論点を網羅的にカバーしている点が最大の特徴で、この教材の取り組みを通じて、問題を見た瞬間に頭の中で答案構成ができるようになるまで徹底的に反復演習を行いました。各問題の論点把握力を養成し、答案構成の組み立て方を体系的に学習することで、実際の試験でも論点を見落とすことなく、合格レベルの答案を作成する力が身についていきました。

このような学習を通じて、論点の即時把握力、答案構成の迅速な組み立て能力、そして法的な思考パターンを確実に体得することができました。これらの要素が有機的に結びつき、相乗効果を生み出したことが、最終的な司法試験合格への道を切り開く鍵となりました。

令和6年度 司法試験合格

論証集は配慮が行き届き使いやすい

西村 海音さん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

予備試験1年合格カリキュラム、国際私法 / 3講座パック、短答式試験「重要トピック攻略講座」
司法試験 論文式試験「予想論点攻略講座」

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートを選んだ理由は、アガルートを利用している受講生の合格率が高いからです。合格率が高いということは、講座などの質が高いと考え受講を検討しました。また、友人から重要問題習得講座は、網羅的に論点が解説されていて司法試験対策に有効で、非常に使いやすいとおすすめされたことも理由の一つです。加えて、ほかの資格学校の講座と比べて講座の価格がリーズナブルだったことも選んだ理由の一つです。

そして、自分は日ごろから市販もされているアガルートの論証集を使用しており、判例に沿った論証起案で使いやすかったこと、判例や参考となる文献が論証の隣に記載されており、受講生が自らその判例などを調べられるよう配慮してあり使いやすいと感じたため、アガルートの講座を受講しようと考えました。重要問題習得講座テキストの問題と論証集の論証の該当箇所を参照できるよう総合講義テキストに論証集のページ番号を記載しており、使い勝手がよさそうだと感じたことも一つの選んだ理由です。

合格体験記

一日の勉強時間は午前8時から18時～20時くらいまで勉強していました。

短答については、毎朝8時から行うこととし、1日何問解くと目標を定めて解いていました。習慣化していたため、あまり苦にならずに短答対策をすることができました。

まず、論文対策では、令和5年の司法試験結果を参考に司法試験レベルで通用していない科目は何かを分析し、その科目を中心に重要問題習得講座を何度も解きました。

論文対策では司法試験過去問も多く解きました。私は、司法試験過去問を解くスケジュールを立てて、なるべくそのスケジュールを達成できるように解いていきました。過去問は令和5年から平成21年くらいまで2周は解きました。今年の司法試験でも刑事訴訟法は過去問からの出題があったので、過去問演習は大切だと思います。また、租税法について

は、過去問解説講座を利用し、講座受講後に3周ほど解くことで理解を深められました。

試験当日は、具体的検討で広く考慮事項に触れることを心掛けました。また、途中答案にならないよう気を付け、合格を勝ち取ることができました。

令和6年度

司法試験合格

期末試験での悪い成績を機に自分に合う演習書を探した

早川 一樹さん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

重要問題習得講座、司法試験「予想論点攻略講座」、短答式試験「重要トピック攻略講座」

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は、法科大学院既修1年目に、アガルートアカデミーの講座を受講しようと決意しました。学部時代は、法律基礎科目で指定された基本書を主に使用して独学をしていました。ロースクール入試はぎりぎり滑り込みで合格できたのですが、法科大学院の最初の期末試験では、非常に悪い成績をとってしまいました。それがきっかけで、先輩や友人に相談したところ、自分の不足している点として、演習不足を指摘してもらい、何か自分に合った演習書はないかと探し始めました。いろいろ調べていくと、アガルートアカデミーの重要問題習得講座が基本7科目でおすすめであることを知りました。私が今まで予備校を使用していなかった理由は、予備校の講座は比較的高額であり、経済的に購入が厳しかったからでした。ただ、アガルートアカデミーの講座は単体で購入可能であり、他の予備校と比較して、購入の余地があるなと考えることが出来るような価格でした。このような理由からアガルートアカデミーを選びました。

合格体験記

私は、ロースクール卒業資格で、司法試験を2回受験し、2回目で合格しました。予備試験は合格していません。既習1年目の夏休みあたりは、短答過去問および、重要問題習得講座を延々と繰り返しました。これにより、基本論点は一通り網羅することが出来たことと、短答の足切りは心配しなくてもよい水準までにはなっていたと思います。ロースクールの後期の期末試験では、その成果が発揮され、良い成績をとることが出来ました。その後は、ひたすら論文過去問を解き、一度目の司法試験に臨みました。一度目の受験で、過去問を解くだけでは、近年の新司法試験には対応できないなと感じ、論文過去問に加えて過去問で出題されていない論点を、重要問題習得講座でとにかくやり込みました。実際に2回目の試験では、過去問だけでは対応できない問題があったため、勉強方法は間違っ

いなかったと考えています。これから受験される方は、とにかく自分が正しいと思った勉強を貫きつつ、合格者の意見も適度に取り入れて取り組んでいただければと思います。

令和6年度

司法試験合格

時間がない社会人受験生でも受講しやすい

Y. Nさん (30代)

法科大学院卒業

受講していた講座

短答式試験「重要トピック攻略講座」、司法試験 論文式試験「予想論点攻略講座」、判例百選スピード攻略講座
労働法 / 重要問題習得講座、重要問題習得講座、論証集の「使い方」

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

基本7科目の重要問題習得講座の評判が良かったため、演習不足の解消と選択科目対策のためにアガルートアカデミーを選びました。アガルートアカデミーは他の司法試験予備校よりも、受験生のニーズに応える講座が沢山あります。他の予備校のようにパッケージ販売ではなく単科で受講できる点も魅力的でした。またYouTube Liveで講師に直接質問をすることができ、割引制度も豊富なので、とても助かりました。さらに、無料体験講義という形でYouTubeに講義の一部がアップされているため、実際の講義を体験してから申込みができる点も良かったです。最新年度の過去問も追加講義という形でフォローされるため、安心でした。受講期間も他の予備校より長めに設定しており、合格まで時間がかかっていた私にとって助かりました。受験生の細かいニーズに対応し、受講期間も長く、事前の無料体験講座もあるという点で、アガルートアカデミーは優れていると思います。

合格体験記

社会人受験生として夜間の法科大学院を修了しました。仕事が終わった後、夜7時頃から11時頃までの講義と土曜日の講義への出席と予習、定期テストをこなすだけで、現役時代は司法試験の対策は困難でした。そして、他の予備校で入門講座を申し込むものの、講義時間が非常に長く、完全に講義を消化することはできませんでした。この点、アガルートアカデミーの講義は、1コマあたり講義時間が短く、時間がない社会人受験生でも受講がしやすいのではないかと思います。司法試験の選択科目は他の予備校でもあまり演習講座が無く、どのように対策をすべきか迷っておりました。そこで、労働法重要問題習得講座を受講したところ、労働法の点数が上位40%程度で安定するようになりました。司法試験合格のためには、選択科目で安定した点数を取ると基本7科目の失敗をカバーできる

ため、選択科目の対策をアガルトアカデミーでしっかり行うことをお勧めします。司法試験合格に時間がかかりましたが、自分の弱点にしっかり向き合って対策をすれば、必ず合格ラインに達することができます。最後まで諦めず学習を続けましょう！

令和6年度

司法試験合格

講義を2周3周と聞いて理解できる部分を増やしていく

佐藤 紘貴さん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

論証集の「使い方」、重要問題習得講座、総合講義 100

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートアカデミーを選んだ理由は、コンパクトに要点がまとめられた講義と高い合格率、値段の安さ、周囲にアガルートアカデミーの講座を受講している方が多かったことです。

私は総合講義 100 を購入したのですが、他の予備校では全科目の講義時間は 300 時間～400 時間ほどであるのに対し、同講座は全科目を 100 時間で講義するという画期的な講座であったため、アガルートアカデミーを選びました。そして、アガルートアカデミーの利用者は高い合格率を誇っているということからも、その講義の内容に対する信頼もできると考えて選びました。

また、私の周囲ではアガルートアカデミーの講座を受講している人が多く、中には大学3年生で予備試験に合格された方もおり、定評のある予備校であると考えていました。

さらに、上記のように信頼のおける講座であるにもかかわらず、講座を単体で購入する場合には他の予備校と比較して出費をおさえることができるため、とてもコストパフォーマンスが良いと考えて選びました。

合格体験記

私は大学2年生の夏休みに総合講義 100 と重要問題習得講座を購入して本格的に学習を始めました。

法律の勉強は難しく、総合講義 100 を1周聞いただけでは分からないところもありましたが、立ち止まらずに進み、2周目、3周目と聞くことで理解できる部分を増やしていきました。そして、ある程度の基礎が付いてきたら、重要問題習得講座の問題を周回し、問題文を見て論点を見つける力を養っていきました。私は特に商法が苦手科目だったのですが、大学院に入ってから司法試験までで商法の重要問題習得講座を3周することでメキメ

キと実力が伸び、在学中に受けた予備試験の商法、司法試験模試だけでなく、司法試験本番でも商法でAを取ることができました。

そして、日々の勉強において総合講義 100 に付属する論証集を読み込み、自分で書きやすい言い回しに変えるなど論証集を適宜修正していました。

司法試験直前期には、論証集と重要問題習得講座を何度も読み込むことで司法試験に合格することができたと考えています。

令和6年度

司法試験合格

部活動との両立のため効率を重視して予備校を検討

泊 直希さん (20代) 【総合74位】

法科大学院卒業

受講していた講座

司法試験答練、予備試験1年合格カリキュラム、労働法 / 3講座パック

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は、司法試験の勉強を始めるにあたって、どの予備校だったら効率的な勉強で合格をすることができるのかという基準を一番に、予備校を検討しました。というのも、大学時代は部活動と両立させつつ司法試験の受験勉強を進めていき、大学院に進学して司法試験を受験するのが最も現実的だと考えていたからです。そして、アガルートを利用すれば、大学時代のあまり勉強時間が取れない中でも、総合講義と重要問題習得講座による勉強でいち早く基礎を固めることができ、そこから大学院へ入学した後に本格的な勉強を始めれば自分の計画通りに合格できると考えたため、選択しました。また、他の予備校との比較では、合格実績で素晴らしい数字を誇っているのに講座の料金が比較的安かったという点も決め手となりました。さらに、私の居住地ではオンラインでの受講しか選択肢がなかったのですが、アガルートではオンラインでの質問ができ、答案の添削もして頂くことも可能で、勉強の心強い味方になってくれると考えたことも決め手になりました。

合格体験記

大学時代は、大学の定期試験に備えることを第一に考え、総合講義を聞いてから重要問題習得講座で基礎を固めるという勉強を行っていました。そして、法科大学院に入ってから、論点を網羅的に習得することがより重要だと考える民事系の科目は、重要問題習得講座を2～3周はしたと記憶しています。ですが、司法試験受験の10か月くらい前から徐々に過去問演習にシフトしていき、毎日1通の過去問の起案を行うよう心掛けていました。ある程度基礎の固まった段階では、本番と同じ形式の問題を実際に起案して、応用的かつ未知の問題に対応する思考力を鍛えることが重要だと考えたからです。そして司法試験の直前期は、典型論点が問われたときに書き落とすことが無いよう論証集を復習すること、また直近の過去問を再度解き直して現場思考力が衰えないようにする勉強を行いました。

した。司法試験では、必ずと言っていいほど事前準備してきた論証では闘えない問題も出題されるため、現場で自分なりの法解釈・判例の引用ができるよう過去問で鍛えたことが、合格にかなり生きたと考えます。

令和6年度

司法試験合格

アガルートのテキストを完璧にすれば後れを取らない

R. Sさん (20代) 【総合36位】

予備試験合格

受講していた講座

判例百選スピード攻略講座、司法試験 論文過去問解析講座、法律実務基礎科目講座・答練パック

環境法 / 4講座パック、論文基礎力養成カリキュラム、予備試験論文式解答解説、予備試験 口述試験対策講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートアカデミーを選んだ理由は、価格の安さ及びテキストのクオリティの高さの双方にあります。

フルカラーで作成されたテキストは非常にわかりやすくまとめられており、かつコンパクトにまとめられている点が非常に魅力的であると感じました。そして内容についても、予備試験及び司法試験で問われうる知識について必要かつ十分な内容が網羅的に掲載されており、アガルートのテキストを完璧にさえすれば知識面で後れを取ることがない、と確信できる点に惹かれました。内容の正確性についても、裏取りの徹底された作りとなっており、試験対策上、一切問題がないと感じます。

そして、上記のようなクオリティの高いテキスト及び丁寧な解説講義を受講できるにもかかわらず、価格帯が他の予備校と比べて安価であることに大きな魅力を感じました。学習の初期段階では自らの進路について不安になるところ、安い価格から学習を開始できるという点は自分にとって大きなメリットでした。

以上の点から、私はアガルートアカデミーを選びました。

合格体験記

私が合格を勝ち取れたのは、アガルートアカデミーの提供する教材に絞って、演習を繰り返した点にあります。

私は重要問題習得講座（重要問題習得講座）を受講していたのですが、同講座は論文式試験の実力を引き上げるのに最も役に立った講座であると思っています。各科目について重要問題習得講座を繰り返すことにより、基礎的な知識・典型論点の処理については完璧に定着させることができました。その後、司法試験対策として各基本書を読むことにより

知識の補充をする際にも、基礎的な土台ができていたことで、素早くインプットをすることができました。

また、判例百選スピード攻略講座についても合格に大きく寄与したと感じています。同講座は判例百選を1つあたり約10分程度で解説する講座であり、独学で学習するよりも遥かに効率的に判例百選を潰すことができました。また、判例百選の解説を通じて、各科目の思考方法についても学ぶことができ、結果として現場思考を問われるような発展的な問題に対する対応力についても養うことができました。

令和6年度 司法試験合格

仕事をしながら合格を目指していた

秋山 真太郎さん (30代)

法科大学院卒業

受講していた講座

知的財産法 / 総合講義、重要問題習得講座、事例演習民事訴訟法解析講座

事例問題から考える憲法解析講座、古江頼隆 事例演習刑事訴訟法 解析講座、国際公法 / 3講座パック

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は元々社会人で仕事をしながら司法試験合格を目指しており、各種予備校の答案練習等を利用して論文対策を行っていました。しかし、アウトプットの学習が重要であるのは当然ではあるものの、限られた時間の中で必要な知識を集中的にインプットすることも同時に重要であると感じ、自分に適した講座を探していました。そのような中で、アガルートの「重要問題習得講座」の存在を知り、実践的な問題やその解法パターンを効率良く学べると思い、同講座で全科目受講することにしました。

また、刑事訴訟法について著名な「事例演習刑事訴訟法」という書籍がありますが、こちらは内容が高度であり、他の科目との兼ね合いからもなかなか受験生には手が出しにくいものであると思われます。ところがアガルートが「古江頼隆 事例演習刑事訴訟法 解析講座」という講座を用意しており、難解な同書が分かりやすく解説されていることから、効率良く学習できるものと思い受講しました。

合格体験記

私は論文対策に関しては、直近5～6年の過去問を使って集中的に答案作成の練習を行い、出題趣旨等を熟読するよう心掛けました。民事系科目はある程度の知識量が必要となってくる一方で、公法系や刑事系科目は数年おきに同じような論点が繰り返し出題されていることから、過去問をしっかりと分析して、似たような論点が出た場合には落とさずに書けるよう準備しておくことが大切だと感じました。そして公法系は特に、知識の幅広さを問うような問題は近年は出題されておらず、いかに出題趣旨を理解して答案練習を積んできたかで勝負がつくような傾向にあると感じましたし、実際に私が合格した令和6年司法試験でもその傾向は表れていました。

また、一定の知識量が必要となる民事系については、特にアガルートの「重要問題習得

講座」が役立ったと思います。こちらの講座を受講した後は、同講座のテキストを何周も回して問題と答案例を見直すことで、様々な問題に対する解法パターンが身に付きました。

このように各科目の特性を理解した上で、それぞれに適切な対策を行うことで合格を勝ち取ることは十分に可能な試験であると思います。

令和6年度 司法試験合格

苦手を克服して短答式試験で500位以内に

K. Nさん (20代) 【総合51位】

法科大学院卒業

受講していた講座

短答知識完成講座 I

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートアカデミーを選んだ理由は自分のニーズに合わせて1つの講座から受講をすることができる点に魅力を感じたからです。私は中央大学の炎の塔をメインに予備校を使わず司法試験の勉強をしていたのですが、短答が苦手でした。そのため、苦手な短答を克服するために予備校を使いたいと考えていたところ、アガルートアカデミーを利用する知人に勧められ短答知識完成講座 I /民法・刑法・憲法の受講を決めました。この講座は市販のテキストの自習では網羅しにくい短答プロパーの知識がコンパクトにまとめられており短答の復習に非常に重宝しました。この講座のお陰で、司法試験本番の短答式試験では苦手を克服して500位以内の成績を収めることができました。アガルートアカデミーを軸に勉強されている方はもちろん、普段は予備校を使わず勉強されている方にも苦手分野の克服や知識の穴を埋めるために自分のニーズに合わせてアガルートアカデミーを活用することは非常にお勧めできると考えております！

合格体験記

短答式試験は、各科目3周程度の演習と間違えやすい知識を短答知識完成講座 I のテキストを参考にしながら纏めたものを見返すという勉強方法をとっていました。民法と刑法は過去問を正確に解けるレベルにすることで本番では8割以上得点することができました。この2科目はやればやるほど得点が上がると思うので力を入れて演習することをお勧めします。憲法について、本年度はとても難しかったのですが、私は統治に力を入れており短答式試験前日にも統治分野の過去問を1周したことが良かったと感じています。

論文式試験は過去問の演習・復習をメインに行っていました。平成23年度～令和5年度まで全科目起案しました。司法試験は、問題文の事実から論点を見つけて規範を立てたうえで、事実がなぜあてはめたい結論の方向に評価できるのかを自分の言葉で補うこと

が非常に重要だと考えております。そのような表現力・文章力は時間を計って実際に解いてみることで身につくと感じたので、特に答案を書くペースに自信がない方やあてはめが苦手な方は大変かとは思いますが、答案を実際を書いて復習することを強くお勧めします！

令和6年度

司法試験合格

朝型のため通学型予備校の夜遅い授業が負担に

東野 涼さん (20代)

予備試験合格

受講していた講座

予備試験1年合格カリキュラム、国際公法 / 4講座パック、司法試験答練、司法試験 論文過去問解析講座
予備試験 口述試験対策講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

司法試験予備校には様々な選択肢がありますが、通学形式を中心とした予備校と、アガルートは通信制予備校の最大手というイメージが強いです。それぞれの特徴を考慮した結果、自分にはアガルートの方が合っていると感じました。

アガルートの最大の魅力は、通信制であるため、自分のペースで学習を進められる点です。私は朝型の生活スタイルで、夜遅くまで授業を受けることが苦手です。通学型の予備校では、夜10時頃まで授業が続くことが一般的ですが、これが自分には負担に感じられることが多いです。一方、通信制であれば、朝の頭が冴えている時間帯に集中して学習を進めることができます。こうしたフレキシブルな時間管理が可能な点が、自分にとって非常に大きなメリットでした。

さらに、アガルートの教材を選んだ理由の一つです。他の予備校と比較して、教材がスマートにまとまっており、情報が洗練されている印象を受けました。司法試験の学習内容は膨大で、効率よく必要な知識を吸収することが重要です。その点、アガルートの教材は、短期間で集中して勉強するのに適していると感じました。また、通信制ならではの動画講義も、自分の空いた時間に視聴できるため、スケジュールに柔軟性が持てます。

これらの理由から、通信制予備校であるアガルートを選択しました。通学型予備校には直接講師から学べる良さもありますが、自分のライフスタイルや効率的な学習方法を重視すると、アガルートの方が自分には適していると思いました。

合格体験記

いきなり問題集を解くのは難しく感じたため、最初は問題文を読むだけにとどめ、自分なりに頭の中で解答を考えるという方法をとりました。紙に書いたり時間を計ったりする

本格的な演習とは異なり、この方法は気軽に取り組めるので負担も少なく、解答をイメージする練習として非常に有効でした。繰り返すうちに、少しずつポイントを押さえた解答を組み立てられるようになり、問題の見方や考え方が身についていきました。

その後、ある程度自信がついた段階で実際に問題を解く演習に移りました。過去問を中心に、1問ずつ時間を計りながら取り組み、解いた後には必ず模範解答と照らし合わせるようにしました。最初はなかなか正解にたどり着けないことも多かったのですが、解答の方向性や論点の押さえ方を意識しながら解くことで、徐々に手応えを感じるようになりました。

過去問は一度解くだけでなく、二周することを目標としていました。一周目では問題に慣れることを重視し、二日目ではより精度の高い解答を目指しました。同じ問題でも繰り返し解くことで新たな発見があり、理解が深まるとともに、試験本番での細かい対応力も鍛えられました。このように段階的に取り組むことで、苦手意識を克服し、自分の力を少しずつ伸ばしていくことができました。これによって、合格レベルに達しました。

令和6年度 司法試験合格

「この人が選ぶなら間違いないだろう」

A. Tさん（20代）【総合86位】

予備試験合格

受講していた講座

予備試験1年合格カリキュラム、知的財産法 / 3講座パック、予備試験 口述試験対策講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

法曹を志望し始めた頃、大学の授業がかなり難解でレベルが高く、単に大学の授業を受けているだけで果たして司法試験に受かることができるのか、不安を覚えました。周囲の法曹志望者は大抵予備校に通っていたため、自分も予備校を併用した方がスムーズに理解が進み、効率的に勉強ができるだろうと考えて、予備校を探し始めました。そんな時、ちょうど優秀な先輩にアガルートアカデミーを使っている方がいて、「この人が選ぶなら間違いないだろう」と思ってアガルートアカデミーを選びました。また、講座の価格帯も比較的リーズナブルでしだし、無料で視聴できる講座の内容を見る限り、講義は聞きやすいと感じたこともあります。また、全ての講義をオンラインで受講できることから、好きな空き時間に視聴し、勉強を進めることができるのも魅力に感じました。さらに、カリキュラムがしっかりと組まれていて、自分がどういうスケジュール感で学習を進めれば合格にたどり着くのかを具体的にイメージできたという点も大きかったです。

合格体験記

私の学習方法は、ロースクールで知り合った友人との過去問起案（自主ゼミ）が中心でした。

昨年までの予備試験の勉強については一人で行っていましたが、この際にアガルートの教材（特に、総合講義はボリュームがちょうどよく、基礎→応用で2周するという流れも自分に合っていました。）で必要十分な基礎知識を一通り身につけ、学部・ロースクールの難解な授業もある程度楽しめるレベルに持っていけたことが非常に良かったです。

このことによって、司法試験の勉強についてはインプットをそこまで意識することなく、上記の自主ゼミを通じたアウトプット中心に行うことができ、合格に繋がったように思います。

自主ゼミの仲間にもアガルート生がいて、アガルートの総合講義で触れられている論点

か否かを確認することで、答えられなければ周りとは差がついてしまうような論点なのか、それとも答えられたら御の字の現場思考的な論点・細かい論点なのかを判断し、自分の出来具合を確認することができました。

令和6年度 司法試験合格

その勉強が本当に必要なのか常に吟味

村田 勇太さん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

倒産法 / 司法論文過去問解析講座、判例百選スピード攻略講座、短答知識完成講座、倒産法 / 総合講義
倒産法 / 論証集の「使い方」、倒産法 / 重要問題習得講座、重要問題習得講座、論証集の「使い方」

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートアカデミーを選んだ理由は、二つある。一つ目は、実績である。他の予備校と比較して、司法試験合格という目標達成に一番コミットしていると感じた。私は、なにかやるには、目的意識がないと打ち込めない性格なので、効率性を重視したアガルートアカデミーに惹かれた。実際、アガルートの講座を受講したが、効率性を重視しており、満足度が高かった。二つ目が、価格の安さである。他の予備校は、100万円を超える講座もあったが、アガルートアカデミーは、その点割安感があった。法科大学院に進学していた私にとっては、高額な授業料が既にかかっていたので、予備校にかかる費用はなるべく抑えたかった。そのため、アガルートアカデミーの講座は、金銭的にも助かった。これから、司法試験対策の予備校を探す際には、予備校の知名度で選ぶのではなく、どのような内容の講義をしているのかを、YouTubeやインターネットで参照して選択するのをおすすめしたい。

合格体験記

私は、司法試験合格という目標達成にとって、その勉強が本当に必要なのか常に吟味して勉強をした。例えば、論証集の暗記を、私は、しなかった。その理由は、採点実感から、採点官が、論証パターンを嫌っていることを読み取っていたからである。私は、司法試験は、出題された事実関係に、法を用いて、論理的なパズルを組み合わせ、妥当性のある答えを導ければ合格する試験であると考えていた。そうであると、論証集の暗記は、出題された事実関係を深く考えず、反射的に貼り付けることになるため、司法試験合格にとって、本当に必要な勉強であるとは思わなかった。私は、六法の条文、その趣旨、条文の解釈としての判例の三つを勉強した。どの合格者も言っているが、答案に条文を適示することが一番大切である。私は、論証集の暗記はしなかったが、定義の暗記は行った。これは、誰

もが苦痛に感じるだろうが、採点実感から正確な定義を書くことに点があると読み取れる以上必要な勉強であると割り切って行った。漫然と勉強するのではなく、司法試験合格のための勉強を積み重ねてほしい。

令和6年度

司法試験合格

サークルやアルバイトとの両立

K. Yさん (20代)

予備試験合格

受講していた講座

判例百選スピード攻略講座、国際私法 / 予備論文過去問解析講座、国際私法 / 司法論文過去問解析講座

予備試験1年合格カリキュラム、国際私法 / 3講座パック、過去問から学ぶ「当てはめの作法」

予備試験 口述試験対策講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

学部3年の頃、予備試験の受験を考え始めたのですが、どんな勉強をすればいいのか、何を勉強すればいいのが全く分からなかったためSNSやインターネットで情報を集めてみて、アガルートの教材は、範囲は必要な範囲に絞られていながら教材の網羅性は抜群であること、カラーのテキストで見やすい教材であること、講義がわかりやすいなどの意見が多く見られました。実際にYouTubeで公開されている講義やガイダンス動画を聞いてみて、講義やレジュメも非常にわかりやすいこと、無駄を省き最短合格を強く意識していると感じました。学部時代、サークルやアルバイトも行っていたため、出来るだけ効率よく勉強したいと考えていた自分にとって最適の予備校だと感じました。その他にも質問制度やオンラインの添削システムもあったことから初学者の自分一人でも学習には困らないと思いました。また、他の大手予備校と比較して安かったこともあり、学生であり経済的に余裕がなかった自分にとっては非常に魅力的に感じました。

以上の理由からアガルートアカデミーを選択しました。

合格体験記

私が合格することができたのは、アガルートアカデミーの教材、特に重要問題習得講座をひたすら繰り返し勉強したためだと思います。重要問題習得講座は、勉強の始めに答案のイロハを学ぶことができ、講義動画も1個1個のチャプターが短いためスムーズに講義を消化することができました。勉強が進んでいっても基礎的知識や重要論点を網羅的効率的に勉強でき、繰り返せば繰り返すほど新たな発見があり、非常に素晴らしい講座でした。重要問題習得講座の答案構成をひたすら繰り返すことで自分の基礎基本の知識を盤石にすることができました。司法試験直前も総復習として重要問題習得講座の答案構成をおこなっていました。私の司法試験の勉強は、重要問題習得講座に始まり、重要問題習得講座

に終わったといえます。

司法試験では、応用的なことや難しいことも聞かれますが、合格してみても実際に合否のラインを分けるのは基礎基本的なことを正確に処理できるかだと感じました。私は、アガルートアカデミーの教材で司法試験合格に必要な基本的な知識をしっかりと身に着けることができました。

令和6年度

司法試験合格

法律の知識ゼロから半年で法科大学院に合格

岩永 一輝さん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

予備試験1年合格カリキュラム、経済法 / 4講座パック

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私がアガルートアカデミーを選んだ理由は、短い期間で全科目を1周することで短期合格につながると考えたからです。私は、京都大学法科大学院の早期卒業用の入試を受ける半年前に初めて法律の勉強を始めました。そのような状況であったことから短期で各科目を1周する必要があった中、他の予備校では2年間かけてカリキュラムが構成されているところなどが多く、それとの比較でアガルートアカデミーを選びました。また、周りの友人からアガルートの重要問題習得講座が論点を網羅的に取り扱っているという話を聞き、重要問題習得講座を周回するという勉強方法が自分に向いているということが分かっていたことからアガルートアカデミーを選びました。

2点目は、他の予備校に比べて価格帯が安いということです。学生の私にとって価格帯が安いということはとても大きな要因でした。確かに安い代わりに質が悪ければ意味がありませんが、アガルートアカデミーは質も落とさずに値段は安いという予備校であると聞いたので選びました。

合格体験記

私は、アガルートに入って半年で京都大学法科大学院の入試に合格しました。このころは、ほとんど法律の知識がゼロでしたのでアガルートアカデミーの総合講義を丁寧に受講しーから順を追って勉強をしていました。しかし、半年という中で総合講義を見る時間がなく、そこで重要問題習得講座を周回するという勉強方法を探りました。そして、この方法を採用することで入試に半年で合格することができました。その後は、アガルートの講座を1周して知識をつけロースクールの授業と基本書を読むことによってその知識を肉付けしていきました。また、短答式試験対策はアガルートの短答過去問解説講座のみで対策し400位という高順位をたたき出すことができました。これらのように、アガルートアカデ

ミーの講座を有効活用することで約1年半という月日で司法試験の最終合格を勝ち取ることができました。合格した今でも特に重要問題習得講座は役に立ったと感じています。合格に向けて重要問題習得講座を周回し答案のイメージをつかむことが最も重要だと感じました。

令和6年度

司法試験合格

合格のための最短最速の合理的なカリキュラム

K. Sさん (20代) 【総合 15 位】

予備試験合格

受講していた講座

司法試験 論文式試験「予想論点攻略講座」、耳で覚える重要項目 300・1問1答、倒産法 / 重要問題習得講座

司法試験 論文過去問解析講座、予備試験論文式解答解説、判例百選スピード攻略講座

採点実感から読み解く合格答案の「型」習得講座、予備試験1年合格カリキュラム、倒産法 / 3講座パック

予備試験 口述試験対策講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私がアガルートを選んだ理由は、司法試験合格のための最短最速の合理的なカリキュラムが整えられていると感じたからです。司法試験合格を目指して法律の勉強を開始しようとした際、いくつかの司法試験予備校を比較検討させていただきました。私は、試験に合格する上で最も大事なことは「傾向と対策」だと考えていました。そして、アガルートのカリキュラムは他社の予備校のそれと比べて講義時間が凝縮されており、司法試験に最も特化していると感じました。すなわち、総合講義 300 で各科目の基礎を素早く頭に叩き込み、重要問題習得講座で短文事例問題の演習を徹底的に繰り返すことで知識の運用の仕方を習得した上で、過去問の研究をして司法試験に特化した対策を繰り返すこと、このカリキュラムが合理的に感じました。さらに、テキストは他社の予備校と異なり、文字がびっしり書き連ねられた無味乾燥なものではなく、多様な図や表があって整理されていたことから、自分でもこのカリキュラムをこなすことができると確信したこともアガルートを選んだ理由の1つでもあります。

合格体験記

私が司法試験に合格することができた理由は重要問題習得講座をやりこんだことにあると感じています。重要問題習得講座の最大の特長は司法試験合格に必要な十分な短文事例問題が厳選されていることにあります。実際に現場で未知の問題に遭遇したとしても、重要問題習得講座をやりこんでいれば、この問題は現場思考問題（つまり応用問題）であると判断することができ、この問題ができなくとも他の受験生とは差がつかないと考えること

ができます。これは試験本番の心の余裕につながり、合格可能性を引き上げてくれるものと考えています。以下では私の重要問題習得講座の活用方法を紹介します。まず、1周目は問題を見て5分考え、解説・解答を見てから講師の解説動画を視聴します。ここで時間をかけないことがポイントです。次に、2～5周目あたりまでは、実際に答案を書いてみます。そして、答案例と比較して自分になにが足りないのか、答案例はなぜこの部分を答案として盛り込んでいるのか等を分析して自分の答案に落とし込んでいきます。なお、論証のインプットは論証集の「使い方」講座にておこない、重要問題習得講座の役割を「論証の使いどころの理解」や「答案の書き方のインプット」、「問題文の読み方」などに限定することが重要です。最後に、6周目以降は、答案構成にとどめてひたすら周回するとよいと思います。ここでも、上記の役割を意識して重要問題習得講座を活用するとよいと思います。以上のようにして、私は重要問題習得講座を活用して司法試験に合格することができました。

令和6年度 司法試験合格

論証集は試験本番の休み時間まで利用した

H. Kさん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

予備試験論文式試験 予想論点攻略講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

司法試験・予備試験予備校の受講を検討していた当時、知り合いのロースクール生に受講する予備校について相談したところ、アガルートがロースクール生を中心にシェアを広げていること・テキストの完成度が高いことからアガルートを勧められた。アガルートの受講相談で丁寧にカリキュラムやアガルートの特徴についてご説明いただき、アガルートなら安心して受講が続けられると思った。特に、インプット中心の勉強に疑問を有していたことから、総合講義の講義時間の短さやアウトプット中心であるアガルートのカリキュラム等の特徴は自分に合っていると思った。また、マネージメントオプションを受講することにより、常にスケジュールを管理され、締め切り効果もあることから、オンライン講義の短所である講義の消化不良にも対応できると考え、マネージメントオプションのような個別指導のシステムを有するアガルートを選択した。

合格体験記

まずは、アガルートの講師にご提示いただいたカリキュラムに則って総合講義 300・論文答案の「書き方」講座・重要問題習得講座を受講した。カリキュラム通り、民法の総合講義が終わったタイミングで商法の総合講義を視聴し始めると同時に民法の答案の「書き方」講座も視聴し始めるといったように最大3科目を同時並行で進めていった。

重要問題習得講座が終わったタイミングで予備試験の過去問を解き始め、過去問解説講座の視聴を始めた。短答式試験の過去問は総合講義の最後の科目である行政法の視聴を始めたタイミングで1日20問とノルマを決めて解き始めた。

ロースクール入学後は授業の予習箇所該当する総合講義の部分を読んだ。司法試験の過去問を解いた際にも知識に不安が残る部分は総合講義を確認し、論証に不安が残るときにはアガルートの論証集を確認した。論証集・総合講義・重要問題習得講座のテキストは司

法試験直前期まで使い続けた。特に論証集については、ロースクールの講義や基本書を読み答案に使えるような情報を一元化する教材として利用し、司法試験本番の休み時間まで利用し続けた。

令和6年度

司法試験合格

信頼できる質の高い教材を繰り返すのが最も近道

H. Tさん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

短答知識完成講座、経済法 / 司法論文過去問解析講座、司法試験 論文過去問解析講座

経済法 / 予備論文過去問解析講座、経済法 / 重要問題習得講座、経済法 / 論証集の「使い方」、総合講義 300

司法試験 論文過去問解析講座、経済法 / 司法過去問解析講座、経済法 / 総合講義、総合講義 100

法律実務基礎科目対策講座、手形・小切手法 重点攻略講座、憲法・統治 重点攻略講座

法科大学院入試過去問解析講座 / 京都大学、法科大学院入試過去問解析講座 / 中央大学

法科大学院入試過去問解析講座 / 早稲田大学、法科大学院入試過去問解析講座 / 慶應義塾大学、重要問題習得講座

論証集の「使い方」、判例百選スピード攻略講座、採点実感から読み解く合格答案の「型」 習得講座

個人別マネジメントオプション、短答過去問解析講座、短答知識完成講座Ⅱ、短答知識完成講座Ⅰ

旧司法試験 論文過去問解析講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私がアガルートアカデミー（以下「アガルート」）を選ばせて頂いた理由は大きく2つございます。まず、1つ目は教材の質の高さです。私の学部時代に、私の友人がアガルートを受講していたため教材を拝見させて頂いたことがございました。その際、私はアガルートの教材の質の高さに非常に感銘を受けました。具体的に、アガルートの教材に記載されている内容はどれも文献による徹底的な裏付けがなされており、知識の正確性が担保されている点及び最先端の学説もカバーしており、その説明も受講生が知識として使いこなせるように非常に分かりやすく記載されている点に質の高さを感じました。私は司法試験に合格するためには信頼できる質の高い教材を繰り返すことこそが最も近道であると考えていたため、アガルートの教材の質の高さは受講の大きな決め手となりました。続いて2つ目は、講師の方の説明の圧倒的な分かりやすさです。私はアガルートの講座の受講を決断させて頂く前にアガルートのホームページにございます工藤北斗先生の解説動画を拝見させて頂き、その分かりやすさに非常に感銘を受けました。具体的に、工藤先生の解説は必要な所は密度濃く解説がなされ、司法試験との関係では重要性がそれほど高くはない所は解説を短く済ませる等重要性に応じて濃淡がはっきりと付けられておりました。私を含め受験生は時間との戦いです。受験までの時間は有限である以上司法試験に必要な知識を効

率良くインプットし、身に着けた知識が得点として評価される形でアウトプットできるようにならなければなりません。このように時間のない私にとってアガルートのコンパクトながら司法試験合格に必要な知識が分かりやすく解説がなされている点は受講の大きな決め手となりました。以上の2つの理由からアガルートの受講を決断させて頂きました。

合格体験記

私が司法試験に合格するために意識していたことは少なくとも確かな知識を積み重ねていくことです。司法試験は確かに暗記しなければならない知識が沢山ございます。しかし、司法試験合格との関係では基本的な知識を正確に理解し、それを表現できる文章力があれば合格することができます。ここでいう基本知識について、私はアガルートの重要問題習得講座（以下「重問」）で出題されている知識を基本知識と認識しておりました。そして、この基本知識を正確に理解し、得点として表現できるようになるためには基本知識が網羅されている教材を徹底的に反復するしかございません。反復は非常に辛い作業です。しかし、この作業は決して避けては通れないと思います。また、反復についてもただ漫然と繰り返していれば良いわけではございません。反復していく内にどんどん問題も見覚えのあるものになっていきます。そこで、今当該問題が解けたのはその問題の本質を理解できているからなのか、単に反復する過程で答えを覚えているからなのかを区別する必要があります。当たり前ではございますが基本知識として身についたといえるのは前者です。具体的に本質を押さえたとは、問題を見て、何でこの問題ではこの論点の問題になるのか、そして問題となる論点についての規範が頭に瞬時に浮かび、結論を導く上で問題文の事情のこの部分はこういう意味で重要な法的意味を持つな、というようなことが理解できていれば私は本質が理解できたと認識しておりました。また、受験までの時間は有限であるため、本質を押さえることができた問題は繰り返す際にはどんどん除外していき、できない問題に絞って徹底的に繰り返すことも非常に重要です。司法試験に合格するためには、難しい議論や学説を沢山知っている必要はありません。司法試験は実務家登用試験であり、学者登用試験ではないからです。だからこそ、基本知識には抜け漏れがあってははいけません。以上のような点を意識し、徹底したことが合格につながったのだと思っています。

令和6年度

司法試験合格

合格への道筋が見えやすい

A. Mさん (20代)

予備試験合格

受講していた講座

重要問題習得講座、予備試験 口述試験対策講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

学習初期段階では、他の予備校を利用していたが、大学在学中に受験した司法試験予備試験の論文式試験に不合格となってしまった際に、ブログやSNSを検索して、アガルートの論証集や重要問題習得講座の評判が良かったため、論文対策としてアガルートの講座を受講することに決めた。アガルートの論証集は網羅性が高いと評判であり、また、重要問題習得講座は問題の量・質ともに適切で、司法試験及び予備試験に十分な知識を身につけることができるとともに、問題量がちょうど取り組みやすい分量であることから、挫折せずに継続的に取り組みやすいと感じた。アガルートのテキストや問題集は情報が端的にまとめられており、合格に必要な内容が過不足なく掲載されていて、アガルートのテキストや問題集をある程度完璧に仕上げることであれば、合格がかなり近づくと思うので、その意味では合格への道筋が見えやすく、試験合格に不必要な学習をしにくい構成になっていると感じたことからアガルートを選んだ。

合格体験記

まず、一番大切なことは、学習を継続できたことが合格に不可欠だったと感じている。毎日、1分でも学習をすることが大切であり、復習や暗記はできる限り早く複数回行い、知識の定着を図ることが大切だと思う。大学生活は一生に一度しかなく、人生で一番楽しい時期とも言えるので、私は大学生活を後悔したくないと思い、アルバイトを週3回程度行い、旅行も複数回行っていた。しかし、旅行中や飲み会の最中も、常に司法試験のことをある程度意識して、帰ったら論証暗記を行ったり、旅行の前日はいつも以上に集中して学習に取り組んだりして、メリハリをつけて毎日少しでも司法試験の学習をすることを心がけた。また、司法試験は、短答の点数が合否に大きく左右すると個人的に考えていたため、本番直前まで、短答式の学習を行うことを意識していた。特に試験直前期の試験勉強はかなり大変で精神的にも追い込まれるが、これをやらないと、これを覚えないと落ちる、

と考えて学習するとやる気が出ると思う。

令和6年度

司法試験合格

1回で内容が耳に残る

関 陽紀さん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

重要問題習得講座、予備試験1年合格カリキュラム、経済法 / 3講座パック

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

サンプル講義を受講した際に、各科目の学習を2週に分け、1週目を基礎的な事項、2週目に論点及び発展的な事項、という形で進めていく方法をとっておりスムーズに全体像を理解することができた。その方法が自分には合っており、学習がしやすかった。

先生の話し方がスムーズで、声が非常に聞き取りやすく1回で内容が耳に残る感じがした。

自分は部活動にも並行して取り組んでおり時間がなかったため、司法試験においては不要な過度な深掘りの知識と、必須である基礎的な知識の区別が徹底されているという効率的なインプットの方法が魅力的だった。

他の予備校では白黒のテキストが多い中、アガルートではテキストがフルカラーであり視覚的にも印象に残りやすく、読解するのにもストレスが掛かりにくく感じ、どんどん次に進もうという気持ちになった。

論証集に最低限覚えるべき知識が集約されており、一旦最低限の基礎知識を習得するのに役立った。

価格が他の予備校と比べて安いのも魅力的だった。

合格体験記

ロースクール入試に向けて、総合講義300を一通り受け、重要問題習得講座を1周（問題によっては2周）し、ひとまず論証をインプットした。重要問題習得講座では起案はせずに、答案構成のみにとどめ、重要問題習得講座の添削オプション付きの問題のみ起案をし、そこで答案の書き方を学んだ。答案の書き方は慣れるまでは何を書いていいか分からず大変苦労した。そのような状況の中で、重要問題習得講座の添削オプションで初めて自分の書いた答案を他人に見てもらおうという機会を設けることができ、大変効果的だった。

ロースクールに入ってから、ロースクールの講義を中心に、条文や制度の趣旨や判例

の射程などより深い本質的な理解に努めた。試験本番では、必ずと言って良いほど初見の事例や自分の持ち合わせている知識のみでは対応できない問題が出題されるが、本質的な理解をしていたことによって、その場で応用を効かせることができた。

ロースクール1年次の期末試験が終わってから司法試験までは、司法試験の過去問10年分を1周解き、適宜過去問の添削を受け、答練も受講した。

直前期は、自分でワードで作成した、司法試験の知識をすべて集約したレジュメに一通り目を通し、記憶を新鮮にして臨んだ。

令和6年度

司法試験合格

「合格できるレベルにいないのでは」から一発合格

M. Mさん (20代)

法科大学院卒業・予備試験合格双方

受講していた講座

労働法 / 論証集の「使い方」、予備試験 論文過去問解析講座、法科大学院入試過去問解析講座 / 九州大学 (一次)

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

入学を志望していたロースクールに通う同大学法学部卒業の先輩から、アガルートの実況論文講義の学習を勧められたことがきっかけでした。全科目分の実況論文講義の冊子を購入し学習した上、同ロースクールの過去問解説講座を入試直前まで何度も受講・復習したおかげで、同ロースクールに合格できました。そうして私自身もアガルートを愛用するようになりました。

特に、コロナ禍で予備校には一切通う予定がなかった私にとって、オンラインで講義を受講できたことも、非常に助かりました。いただいた参考答案を何度も復習し、わからない所は講義を何度も視聴するなどして、コンテンツをめいっぱい利用させていただきました。

講義は本当にわかりやすく、論証集も愛用させていただきました。そして司法試験や予備試験の過去問の参考答案や解説が欲しいとなったら、即「アガルートしかない!」と思い、利用させていただきました。どのコンテンツも本当にありがたかったです。

合格体験記

ロースクール入学前から一貫して基礎知識が不足していた私は、アガルートの「実況論文講義」「論証集」を全科目利用して、効率よく論点を頭に叩き込みました。先輩方からいただいたまとめレジュメに、アガルートの論証や、司法試験・予備試験の過去問の論証を全て追加し、自分専用まとめレジュメを全科目作成し、何度も復習しました。

また先輩に添削していただいた数年分の司法試験過去問以外は、アガルートの論文過去問解析講座等の参考答案を何度も何度も読み込み、平成18年から令和5年までの全科目の司法試験過去問を学習しました。更に、司法試験合格に必要な最低限の論点や知識を補うため、そして司法試験と予備試験で出題分野が被ることも多いため、全科目全年度の予

備試験過去問の参考答案を読み込みました。

限られた時間内で司法試験一発合格を勝ち取るため、「ロースクールでの学習、論証の覚え込み、司法試験・予備試験の過去問」のみを徹底したことで、一発合格を勝ち取れました。本当に、アガルートの論証、過去問解説がなければ今の私はおりませんので、感謝しかありません。

私は実は司法試験直前及び試験中、今年は合格できるレベルにはいないのではと思っていました。しかし本番は「受からないかもとか、今は一切考えず、“司法試験委員会へのラブレターを書くつもりで” 知識・能力を全力で出し切り、熱い気持ちで試験を受け切ろう」と考え、全科目、一喜一憂せず（おかげで全く緊張もせず）、全答案を時間内に書ききれたことが、合格に繋がったと確信しております。

司法試験・予備試験の過去問と論点がかぶっていたこと、得意分野が出題されたこと、そして何より緊張せず（ある意味）自分の力以上を出し切れたこと、この3点で、私は合格を勝ち取ることができました。

令和6年度

司法試験合格

添削指導で身についた文章力のお陰で、 全科目A評価

R. Tさん (20代) 【総合83位】

法科大学院卒業

受講していた講座

法科大学院入試過去問解析講座 / 一橋大学、法科大学院入試過去問解析講座 / 中央大学

法科大学院入試過去問解析講座 / 早稲田大学、法科大学院入試過去問解析講座 / 慶應義塾大学

重要問題習得講座、予備試験1年合格カリキュラム マネージメントオプション、国際私法 / 4講座パック

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

慶應義塾大学時代の同級生が次々に司法試験に合格し、数名が口を揃えてアガルートのマネージメントオプションが良いと教えてくれたからです。他校ではインプットが多すぎて司法試験対策を途中で辞めてしまった学生が多かった印象でしたが、アガルートは総合講義がコンパクトになっていて、短期間でざっと法律科目を1周することができる点に魅力を感じました。また、マネージメントオプションを通して、答案添削をしてもらえる点を皆におすすめされました。わたしは大学卒業後、一旦就職・離職を経験し、周囲に受験生がいない状況で、田舎の実家に帰って司法試験受験勉強を開始し、三段論法が何かも知らない状況であったため、答案添削やマネージメントオプションの進捗報告を通して、定期的に軌道修正をしてもらえる環境が非常にありがたかったです。また、「アガルートの重要問題習得講座は網羅性がある」という他受験生やネットの口コミを信じて、アガルートを選びました。

合格体験記

まず、実際に合格をして思うのは、司法試験は知識半分、文章力半分の試験であるということです。一般的な受験生が考えるよりも、文章力の比重が高いと考えます。三段論法を死守し、趣旨に立ち返って法的思考をする力、説得的に結論へ文章を導く力、その文章力がとても大事です。そして、文章力が高ければ、知っている問題はもちろん、未知の問題へ対応する力も養えます。司法試験本番では、私の勉強不足もあってか、未知の問題に対峙することが何度もありました。知らない判例が問われた問題もいくつもありました。それでも全科目でA評価を獲得できたのは、文章力のお陰だと考えています。そして、前

述の通り三段論法すら知らない状況で勉強を開始していたので、この文章力は間違いなくアガルートのマネージメントオプションを通した添削指導で身についた力だといえます。本当に感謝してもしきれません。知識は自主学習でつけることができますが、文章力の向上にはプロの客観的な視点が絶対に必要であると考えます。また、一旦文章力を身につければ、必要な知識を取捨選択できるようになり、勉強の効率も上がります。正直最初に指導された際には、当時二か月必死に勉強した民法の答案を厳しく言われ、心底腹が立ちましたが、今では真正面から向き合ってくれた先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

また、前述の「アガルートの重要問題習得講座は網羅性がある」という点ですが、こちらも妥当であると考えます。ロースクールで周囲の学生が使っている問題集をいろいろ購入してはみましたが、結局時間・労力が足りず、手をつけることはありませんでした。何度もし組んだのは、司法試験過去問とアガルートの重要問題習得講座だけでした。

2021年11月に勉強開始をし、約3年弱後の2024年7月に受験した司法試験に合格することができました。比較的短期間で効率良く合格ができたのは、アガルートのお陰です。本当にありがとうございました！！

令和6年度

司法試験合格

教材をひたすら見直し続けることが合格への近道

早川 響さん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

知的財産法 / 司法過去問解析講座、司法試験 論文過去問解析講座、法律実務基礎科目対策講座、総合講義 300

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は選択科目について独学で司法試験に臨もうと考えていました。司法試験の受験戦略として、選択科目は差がつきやすく間違いなく疎かにしてはいけない科目であるかと思います。また、私はロースクールに入学してから選択科目を労働法から知的財産法に変更したため、自力で一から知的財産法について基本書で導入を行いながら過去問対策をするというのは非常に負担であると感じていました。加えて、知的財産法は馴染みのない分野であり、導入もかなり苦戦していました。そのため、選択科目について不安があったことから講座を探していました。その際、アガルートアカデミーの講座を見つけました。アガルートアカデミーのテキストは視覚的にも見やすく、わかりやすいと感じました。加えて、他の予備校より安価かつ講座の内容も良質であるとの評判を聞いていました。以上の理由から、アガルートアカデミーを選ばせていただきました。

合格体験記

とにかく学習を継続することで合格することができたと感じています。法律というのは勉強方法を間違え、理解の方向性を間違ってしまうとそれを修正することはとても難しいものです。また、一度学習しても身につかないことは当たり前と考えてもいいかもしれません。法律の勉強は、ただでさえとっかかりにくい、専門用語が多い、覚えるべき判例の数もとても多い、量が多いというものですので、復習をしても忘れてしまうことは多々あると思います。そのため、とにかく継続して勉強を続けることが一番大事であると感じています。

また、学んだ事項を一つの教材にまとめることも非常に重要であると思います。司法試験は学習量が膨大であり、限られた時間のなかでより多くの範囲を身に染み込ませるには、より効率的に学習することが必要です。そのため、広い事項を深く理解し記憶するために

は、あらゆる事項をまとめた教材をひたすら見直し続けることが合格への近道であるかと思います。

令和6年度

司法試験合格

効率的な勉強の指針を与えてくれる

A. Fさん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

予備試験1年合格カリキュラム、国際私法 / 3講座パック

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

1つ目は他の予備校と比べて価格が安かったことです。他の大手予備校だと100万円以上かかる場合も多いですが、アガルートはそれに比べてかなり安く決め手の1つとなりました。

2つ目は周囲に使っている人が多かったことです。予備校を選ぶにあたり、先輩や友人等にも相談しましたが、評判が良かったです。実際、入試会場でもアガルートの教材を持っている人が多く、ロースクールでも使っている人が多かったです。司法試験に合格した先輩も使用しており、それなら自分も使ってみようと思いました。

3つ目は講座内容が充実していることです。価格は抑えられていますが、総合講義、重要問題、過去問解析、短答講座等内容は他の予備校と遜色なく満足しました。また、添削オプションや質問対応等の制度も充実しており、変な思い込みに走ることなく計画的に勉強を進めることができました。

4つ目は使用者の合格実績です。私が購入した時点でも多くの合格実績があり、安心して購入できました。

合格体験記

ロースクール在学中受験だったので、授業と並行しながらの受験であり、勉強方針として効率的に合格のみを考えて勉強しました。

法律の勉強は深掘りしようと思えばいくらでもできるので脱線してしまいがちです。もちろん深く勉強することも楽しいのですが、限られた時間内で8科目勉強するには効率よく行うことが大切だと思います。

アガルートの講義は効率的に勉強するための指針を与えてくれるものと捉えています。講義では司法試験合格に必要な知識が厳選されて取り扱われています。自分としては余計なことは勉強しないという方針で基本的に総合講義→重要問題→過去問という順にプランに

沿って学習を行いました。

総合講義は、基礎の学習に使用したほか、重要問題や過去問を解いて引っかかった部分について復習のような形で何度も見返しました。

重要問題はランクづけされているため、Aランクの問題から取り組んで論述の書き方を身につけました。自分なりの論証を用意したい論点については重要問題の解答を一部改良して自分用の解答を作成しました。

短答についてはアガルートしか使用していません。1問ずつ丁寧な解答講義がついていたので、正解の選択肢のみならず他の選択肢がなぜ間違っているのか？についても勉強できました。

令和6年度

司法試験合格

コンパクトさゆえ何回も周回できた

A. Uさん (30代)

法科大学院卒業

受講していた講座

重要問題習得講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

法科大学院の入試の準備をするにあたり、民法の演習書が欲しいと思っていたところ、合格者の知人からアガルートの重要問題習得講座が良いと勧められたのが受講のきっかけであった。

民法は範囲が広いため、市販の演習書だと分量が多くなりがちな点が悩みどころであった。この点、実際にアガルートを利用している友人にテキストを見せてもらったところ、重要問題習得講座はコンパクトであり、この分量であれば演習書を周回するにあたっても負担が大きくないと考えた。司法試験合格までに重要問題習得講座を20回ほど繰り返し解いたが、このように何回も周回することが可能だったのは、テキストのコンパクトさゆえだと感じている。

また、旧司法試験の過去問のみならず、ロースクールの過去問やオリジナル問題も掲載されており重要問題習得講座1冊で民法の全範囲を網羅できる点も使い勝手が良いと感じた。

さらに、受験生の中でアガルートの受講生も多いことから、メインの演習書として利用するにあたって安心感があったことも受講の決め手となった。

合格体験記

重要問題習得講座に掲載されている短文事例問題の演習をした後、司法試験の過去問に取り組んだ。短文事例問題は20回ほど繰り返し、司法試験の過去問は3周ほど繰り返した。

短文事例問題を繰り返し解く過程で、基本的な法律知識、答案の書き方等を身に付けた。短文事例問題を解く過程で分からないことがあれば、その都度基本書等を読み、疑問を解消するよう努めた。ただ、学習が進んでいない段階では、悩みすぎて時間が無駄に過ぎて行ってしまうことが多かったため、ある程度調べても分からなければ、疑問点を付箋で貼り、次に進むように心掛けていた。重要問題習得講座をフルで起案したのは初めの1週の

みで、その後は答案構成のみにとどめ、周回のスピードを重視した。答案構成は紙に書き出すこともあれば、頭の中で終わらせることもあった。

短文事例問題が一通り解けるようになった後は、司法試験の過去問に取り組んだ。時間の関係上、起案したのは約3分の2で、残りは答案構成にとどめた。過去問演習では、出題趣旨・採点実感の確認に重きを置いた。起案又は答案構成をした後に出題趣旨を確認し、「一応の水準」を取るためにはどこまで記載が必要かを考えた上で、採点実感を読むようにしていた。この過程で、合格ラインに到達するために絶対書かなければならないこと、不良答案にならないために書いてはいけないことが徐々に判断できるようになった。起案した答案はなるべく他の人に見てもらおうようにしていた。自分では気付きにくい書き方の癖などがあるので、論文の書き方が定まっていないうちは他の人に見てもらうのが良いと感じた。

令和6年度

司法試験合格

他校での学習を軸に、不足部分の穴埋めとして利用

S. Uさん (20代)

予備試験合格

受講していた講座

法科大学院入試過去問解析講座 / 京都大学、「事例でわかる伝聞法則」解析講座、国際私法 / 論証集の「使い方」判例百選スピード攻略講座、法律実務基礎科目答練、予備試験答練

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

基幹講座としては他校の講座を利用しておりました。他校で学習を進めていく中で、演習が不足しているとの実感、インプットとして不足している知識部分の穴埋めをしなければならなかったと感じましたので、アガルートアカデミーの講座や教材を補助的に使いました。

細やかな分野を補助的に補足できる講座や教材をアガルートアカデミーは多く提供しており、教材の内容をみても試験対策に必要な事項を網羅していると感じましたので、アガルートアカデミーの教材をよく使用しました。

また、例えば、演習書等を読んでも今ひとつ説明が不足している箇所があり理解しきれないところがありましたところ、これを補足してくれる講座に魅力を感じ、アガルートアカデミーの講座を利用しました。

他にも、百選を解説する講座では、その内容をいかに答案に反映させるかという観点から素晴らしい講義がされるとの評判を聞き、アガルートアカデミーの当該講座を選んだりしました。

合格体験記

アガルートアカデミーはあくまで補助的に利用させていただいたという感覚です。基幹講座として、他校の講座を利用しておりましたところ、他校で学習を進めていく中で、演習が不足しているとの実感、インプットとして不足している知識部分の穴埋めをしなければならなかったと感じました。そこで、アガルートアカデミーの講座を利用し、司法試験、予備試験の合格を勝ち取る戦略を立てました。

アガルートアカデミーでは、判例百選講座や伝聞の演習書についての講座、選択科目の論証集の「使い方」等の講座や、民事系科目、刑事系科目の論証集等の教材を出しています。

すところ、これらを使って学習しました。概ねどの講座も試験対策上必要な知識はすべて網羅しており、これらの教材を使っておけば他の受験生に劣ることはないとの安心感がありました。そこで、これらの教材をなんども復習したり、参照したりすることで自分の血肉とし、最終的に試験で蓄えた力を発揮できるように準備しました。

令和6年度

司法試験合格

自分の答案でいいのか悩んでしまう人へ

N. Tさん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

刑法事例演習教材解析講座、重要問題習得講座、論証集の「使い方」

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は、刑法事例演習教材解析講座の解説講義を受講したのですが、最新版の解説がされており、講師の方の話し方がはっきりしていて聞き取りやすく、全ての問題に答案がついていたことから、アガルートにしました。

声が聞き取りやすいということは重要だと思います。何回も聞くことになり、音声から理解・暗記することもあると思うので、声が聞き取りにくい講師はやめた方がいいと思います。

また、指導実績のある講師だったので、演習書の解説文で重要な箇所、あまり気にしなくていい箇所など教えてもらい、効率的な学習ができました。

本番は結局、答案を書くことになるので、答案の形で知識を吸収できることが何よりもありがたかったです。市販の演習書の解説は、学説なども書いてあり、検討事項も書いてあるのですが、それだけでは答案の形になった時のイメージができず、本番で手が動かなくなるだろうと思い、講座を買おうと思いました。自分で答案を作成することを推奨する人もいますが、時間がなく、自分の答案でいいのか悩んでしまう人、細かいことを考えすぎてしまう人は、一定水準以上は必ず保たれている答案を買った方がいいと思います。

合格体験記

私は、短答が苦手、嫌いだったので、あまり勉強しませんでした。また、論文知識でも正確に覚えられていない、理解できていない箇所が多かったので、基本的な演習書を回すこと、論証集を回すことに注力しました。起案は、ほとんどしませんでした。なぜなら、知識があれば、書けると思ったからです。書き方は演習書の答案などで知っていたので、問題ありませんでした。特に、民事系は知っているか知らないかが重要で、問題文も複雑ではないので、知識を漏らさないように注意しました。ただ、公法系や刑事訴訟法は、過去問を書かないまでも、上位答案は検討していました。

周りは、起案しないと受からない、短答の点数が勝負を決めるなどと言っていますが、自分の得意不得意もあるので、あまり気にしすぎなくていいと思います。そもそも苦手な勉強はストレスすぎて続きません。自分が続けられるものを頑張ればいいと思います。それで、ダメだったら、来年また考え直そうぐらいの気持ちで取り組みました。

令和6年度

司法試験合格

それぞれの段階に応じた講座があるのが魅力

石丸 貴士さん (20代)

予備試験合格

受講していた講座

法科大学院入試過去問解析講座 / 京都大学、予備試験1年合格カリキュラム マネージメントオプション
労働法 / 4講座パック、司法試験答練、司法試験 論文過去問解析講座、予備試験 口述試験対策講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

学部2年時に法曹の道を志し、ロースクール入学を見据えてとりあえずは司法試験を目指そうと考えました。当初は独学をしようと基本書を読んでいましたが、わからないところを聞く人もいなければモチベーションも維持できなかったため、予備校の利用を決めました。予備校は複数候補がありましたが、どの合格者も共通して答案を書くことの大切さを説いていたため、多くの答案を書くことができそうな新進気鋭のアガルートを選びました。

また、予備試験の合格後に、どの予備校を利用して司法試験の対策をするかを決める時期がありました。他の予備校では添削が可能な問題を大量に準備する講座を用意していましたが、自分の実力的に過去問を徹底することが合格のカギと感じていたので、過去問の解説と答練を提供してくれるアガルートを選択しました。受験者の現在の段階に応じた講座が準備されているという点で、アガルートは魅力的であると感じました。

合格体験記

司法試験という試験としての法律の勉強は、継続と効率が重要だと感じました。私にとって法律は非常に難解で、時に心が折れそうになることがありました。ただ、それはほとんどすべての受験生が経験をしているはずであり、勉強をすれば知識は増えていくため、どうにかなるだろうという精神で勉強を続けることが肝要であるように思われます。他方で、入試当日に自分の学力の到達段階が合格ラインを上回っていなければ合格することはできません。そのため、漫然とではなく学力が効率的に上がる自分なりの方策を模索し続けることも重要だと思います。私はこれらを徹底するために、長期的な計画（受験までの月単位の計画）や短期計画（1週間の日ごとの計画）といったものを作成し、モチベーション

管理に努めました。やるべきことをあらかじめ決めていれば、あとはやるだけだと思えるからです。そして、計画策定の際には、過去問を解くことで把握した自分の弱点を踏まえてやるべきことを考えていました。これにより、可能な限り効率の良い学習ができたと感じています。

令和6年度

司法試験合格

基礎知識で十分勝負できると安心して当日をむかえた

A. Sさん (30代)

法科大学院卒業

受講していた講座

予備試験 論文過去問解析講座、倒産法 / 重要問題習得講座、知的財産法 / 論証集の「使い方」
法科大学院入試過去問解析講座 / 東京大学、法科大学院入試過去問解析講座 / 慶應義塾大学
予備試験 1年合格カリキュラム、倒産法 / 4講座パック

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートアカデミーを選んだ理由は、オンラインでの学習環境がよさそうと思ったからです。まず、Webサイトを見たときの印象で、他の予備校よりも、Webサイトのデザインが良かったと思いました。きっと、オンラインでの学習環境も整っているのではないかと感じました。次に、私自身が対面よりもオンラインでの学習が相性が良いと感じていたからです。人それぞれ相性はあると思いますが、私の場合は、オンラインツールを使って学習管理する方が、はかどりそうだと感じていました。確かに対面ではわかるまで質問しやすい等、よい面もあったと思いますが、物理的に多くの時間とお金を使うことになるので、効率性が落ちるとも思い、重要な勉強時間を確保しやすいように、オンラインでの学習環境が充実している予備校を探していました。最後に、アガルートの講師陣は予備校のサイト以外にもYouTubeや他SNSで勉強に関する情報を発信しており、勉強のモチベーションも保ちやすいと思いました。アガルートではオンライン学習に挫折しない仕組みが整っていると思い、アガルートを信じてみようと思いました。

合格体験記

ひたすら、基礎事項の定着が大事と考えました。ロースクールに通いながら司法試験を受験する場合、応用事項はロースクールで勉強することが多い一方で、基礎事項の定着は各自の自主学習にゆだねられることも多いと思います。基礎事項の定着が中途半端では、合格がおぼつかないと思い、司法試験向けの勉強では、ひたすら基礎事項の定着を心掛けました。そのために、行ったのは、アガルートの重要問題習得講座と、司法試験予備試験過去問解析講座の周回です。司法試験過去問は、司法試験予備試験過去問よりも、1問あ

たりの分量が多く、何周もすることは難しいので、予備試験過去問を優先的に練習教材として使いました。重要問題習得講座と司法試験予備試験過去問を、答案構成だけ、1問の検討時間最大30分程度で、全科目5周ほど回し終えたあたりで、ロースクールの試験の評価も、司法試験模試の結果も安定し始めました。基本書や体系書、判例百選等の教材は、上記の問題検討の際に、つまずいたところを調べるためだけに使い、素読はしませんでした。私自身は目的意識のない読書では頭に知識が入らないと考えたので、素読したくなることを我慢して、重要問題習得講座と、予備試験過去問の検討をひたすら続けました。司法試験受験までに、最終的に全科目10周はしたと思います。司法試験直前期（直近3か月）は司法試験過去問を答案構成しました。少し慣れない問題形式や、知らなかった知識もありましたが、それまでに得た基礎知識で十分勝負できると思えたので、安心して当日をむかえることができました。結果、合格できました。

令和6年度 司法試験合格

毎日の通学時間に電車の中で

奥田 玄介さん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

予備試験1年合格カリキュラム、労働法 / 3講座パック

合格体験記

アガルトアカデミーを選んだ理由

司法試験の勉強方法について右も左もわからなかったので、予備校に入るということは決めていました。その方がお金はかかりますが、学習の効率が良いだろうと考えたからです。知人に聞いたり、ネットの声を見て、他校かアガルトのどちらにするか悩みました。価格はアガルトの方が安かったので、アガルトに魅力を感じたのですが、これだけで決めるのは不安だったので、受講相談に申し込み、話を聞いてみることにしました。司法試験なんて合格できるのかと半信半疑でしたが、その際に、丁寧に今後の勉強のスケジュール、使用する教材の内容を説明して頂いたことが決断する上で安心材料になりました。オンラインで好きなペースで進められることや、答案添削や月ごとの進捗確認も、マイペースな自分にちょうど良いと感じました。他校に入っている人も、論証集や重要問題習得講座はアガルトのものを使っているという人も聞くので、結果的には正解だったと感じています。

合格体験記

大学3年の6月にアガルトに入り、まずは予備試験に向けて、ダメだったときは法科大学院入試に向けて勉強しようと考えていました。結果的に予備試験はダメでしたが、法科大学院入試にも大いに役立ったので良かったです。アガルトの勉強スケジュール通りの順番で講義を視聴しました。闇雲に勉強するのではなく、素直に順番に従いました。もっとも、合格するには人一倍のペースでやらなければと考えたので、スケジュールを前倒しで取り組み、倍速で視聴し、科目の全体像を掴もうとしました。総合講義で全体像をざっくり理解し、重要問題習得講座で細かな論点と答案の書き方を覚えました。重要問題習得講座の答案を読み込むことで、論点の発見能力と書き方が養われました。論証集は、内容を理解し、自分の言葉で説明できるようになることを意識して取り組みました。短答は量が多いので、毎日の通学時間に電車の中でコツコツやりました。過去問も解答例があるの

で、どのような分量でどのように書いているのかに注目して読みました。これらのことを何周もするうちに理解が段々と深まってきました。

令和6年度

司法試験合格

耳で理解して覚えるタイプなので音声があるのが重要

A. Uさん (20代)

法科大学院卒業

受講していた講座

経済法 / 司法論文過去問解析講座、経済法 / 重要問題習得講座、重要問題習得講座、経済法 / 論証集の「使い方」
「基礎演習行政法」解析講座、論証集の「使い方」

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

まず、一番大きな理由としては論証集の「使い方」講座に音声ファイルがついている、ということです。私は論証の暗記について、耳で聞いて理解して、覚えるタイプでした。ですので、音声ファイルがあるのが大変重要でした。また、これにより、家事をやっているとき、通学中、寝る前の時間などの、手はふさがっているが、耳は空いているいわゆるスキマ時間を有効活用することができました。

また、講座の多様性や充実度も魅力です。重要問題習得講座は、比較的基礎的な事例問題を取り扱っているのも、これを論文学習のはじめにやることにより、論文学習の第一歩のハードルを下げることができました。そのうえで論文過去問解析講座を受講することで、発展的な司法試験の問題に心理的ハードルの少ない状況で取り組むことができました。

このように、アガルートは多様で充実した講座・教材が用意されているため、体系的にステップを踏んで着実に実力を伸ばせると考えたため、アガルートを選択しました。

合格体験記

法科大学院の在学中試験だったので、とにかく効率的な勉強をするように、間違った努力の方法をしないように心がけました。

具体的には3点あります。

1点目は、いわゆる論証パターンについては一から自分でつくるのではなく、アガルート合格論証集を用いて必要に応じて自分の言葉に変えたり、法科大学院の授業を聞いて得た知識を追加したりしていました。

2点目は、使用するテキストを絞り込み、自分で決めたテキストを何周もやりこむということです。たとえば、私は商法（会社法）については、重要問題習得講座と司法試験に

絞っていました、友人の話をきいていると、ほかの教材も気になりはしたのですが、テキストを絞って繰り返し取り組むことで問題分析の方法や知識を習得できました。

3点目はスキマ時間の有効活用です。とにかく時間を有効活用するために、家事をやっているとき、通学中、寝る前の時間などの、手はふさがっているが、耳は空いている時間には論証集の「使い方」講座の音声ファイルを聞いていました。

令和6年度

司法試験合格

合格していた予備試験とは異なる点を対策

福田 創太さん (20代) 【総合2位】

予備試験合格

受講していた講座

経済法 / 司法論文過去問解析講座、経済法 / 予備論文過去問解析講座、短答過去問解説講座 I

予備試験1年合格カリキュラム、経済法 / 4講座パック、司法試験 論文過去問解析講座、司法試験答練

予備試験 口述試験対策講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートアカデミーを選んだ理由は、自分の経済状態や生活スタイルに合っていたためです。司法試験受験を決意した際、(今もですが) 私は社会人であり、生活費も自分でどうにかする必要があったため、予備校にかけられるお金は限定的でした。また、社会人の場合、どうしても決まった時間に通学するという方式は残業などの関係で難しいため、オンライン授業でいつでもどこでも自分のペースで進められるタイプの予備校のみが選択肢にありました。そこで、以上の条件で予備校を探したところ、いくつかの予備校が候補に上がりましたが、その中でもアガルートはテキストがわかりやすく正確であると評判で、なおかつ価格もそこまで高くなかったのも、まさに私の生活スタイルや経済状態に合ったものでした。また、「予備試験1年合格カリキュラム」という形で合格に必要な講座がまとまっていたため、法律初学者の私でも必要なコースが何かを把握することができたのもよかったです。そういった理由で、私はアガルートを選びました。

合格体験記

私は予備試験合格者だったため、司法試験に対する基礎的な力は既に身につけている状態でした。そのため、私は予備試験と司法試験で一番異なる点を対策して埋めるということが必要だと感じておりました。そこで、私は司法試験の、特に論文式試験の出題形式に慣れるということを最大のテーマとして勉強をしていきました。具体的な論文式試験対策としては、とにかく過去問を解きまくるということをしました。世の中的にはだいたい7年から10年分くらいの過去問を解くのが相場かなと思いますが、私は選択科目を含めて全年度分を解くようにしました。その結果、用紙8枚・試験時間2時間という大ボリューム

ムのテストに慣れることができ、自分の中でペースを配分して本番に臨むことができました。一方で、足切りがそこまで厳しくない短答式試験は、予備試験の成績がよかったこともあってリソースを割かないことに決めました。具体的には、論文式試験の勉強に飽きたときや、論文式試験を解くほどの時間がないときに、過去問を解く程度にとどめました。

令和6年度

司法試験合格

長期間苦しめられた短答試験に4回目で合格

S. Kさん (20代)

予備試験合格

受講していた講座

重要問題習得講座、予備試験 口述試験対策講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は、当初、予備試験対策として入門講義を他の予備校で受講して、当該予備校の論文講座を利用していました。しかし、論文を自力で書くことが難しいと感じ、伸び悩んでいました。その際に、ネットで論文対策として評判の良い「重要問題習得講座」と呼ばれる講座を知り、興味を持ちました。試験に合格するには、合格者の中の多数派が利用しているものを利用するのが効率的であると考えたため、予備試験合格者の中でシェア率の高い「重要問題習得講座」を利用することが自分が論文を書くことができるようになるための近道であるとして、当該講座を受講し始めました。また、当該講座を選んだ理由には、網羅性があります。予備試験合格には、重要問題習得講座と過去問演習だけで十分といわれるほどに、当該講座は論点を幅広く押さえており、これを完璧に近くなるまでやりこめば怖くない、これで知らない問題に直面したら受験生皆分からないから勝負はつかないと考えることができるほどの講座だと思いました。

合格体験記

私は、予備試験の短答試験に3回落ち、4回目で最終合格したのち、司法試験に合格しました。そのため、短答には長期間にわたり苦しめられましたので、私の失敗と改善の過程について記します。

短答対策として過去問をやることは一般的な勉強法であると思います。しかし、過去問は量が多く、なかなか負担が大きいです。私は、当初この量に耐えられず、やる問題を正答率70パーセント以上のものに絞っていました。これによりアウトプット不足となってしまいました。その後、過去問を全部解くことに勉強法を変えたものの、今度はインプット不足で知識に穴ができてしまいました。そこで、過去問を全問解くことは前提で条文素読を始めました。すると、知識の穴が埋まり、高得点が安定するようになりました。

論文対策としては、重要問題習得講座と過去問演習だけで十分です。重要問題習得講座に関しては、答案例を参考に何度も読んで答案の方を身に付ける必要があります。そして、過去問はできるだけ時間を計って、1日1通書くことが重要でした。日常的に書いていれば、時間管理もうまくなりますし、何より筆力が上がるからです。司法試験は筆力があるほど有利であることは間違いありません。